

令和 8 年度

広第 2 号 新発田広域消防本部解体工事

< 図面リスト >

建築図			構造図			電気設備図・機械設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1	A-1 解体工事特記仕様書 1	N.S	30	S-1 庁舎棟(本体) 1F柱・壁・床・梁・基礎伏図	1/100	51	E-1 庁舎棟 電灯・幹線設備 1F平面図	1/100
2	A-2 解体工事特記仕様書 2	N.S	31	S-2 庁舎棟(本体) 2F柱・壁・床・梁伏図	1/100	52	E-2 庁舎棟 電灯・幹線設備 2F平面図	1/100
3	A-3 案内図、解体工事建物一覧、全体配置図	1/300	32	S-3 庁舎棟(本体) RF・PHRF床梁伏図	1/100	53	E-3 庁舎棟 弱電設備 1F平面図	1/100
4	A-4 庁舎棟 内外部仕上表	N.S	33	S-4 庁舎棟(本体) 基礎リスト1	1/30	54	E-4 庁舎棟 弱電設備 2F・PHRF平面図	1/100
5	A-5 庁舎棟 1F平面図・KEY-PLAN	1/100	34	S-5 庁舎棟(本体) 基礎リスト2	1/30	55	E-5 庁舎棟 自動火災報知設備 1F平面図	1/100
6	A-6 庁舎棟 2F平面図・KEY-PLAN	1/100	35	S-6 庁舎棟(本体) 地中梁リスト	1/30	56	E-6 庁舎棟 自動火災報知設備 2F平面図	1/100
7	A-7 庁舎棟 RF・PHRF平面図・KEY-PLAN	1/100	36	S-7 庁舎棟(本体) 柱リスト	1/30	57	E-7 屋外キュービクル詳細図	1/20
8	A-8 庁舎棟 立面図	1/100	37	S-8 庁舎棟(本体) 大梁リスト1	1/30	58	M-1 庁舎棟 衛生設備 外部平面図	1/100
9	A-9 庁舎棟(本体妻側) 立面図	1/100	38	S-9 庁舎棟(本体) 大梁リスト2	1/30	59	M-2 庁舎棟 衛生設備 1F平面図	1/100
10	A-10 庁舎棟(本体) 断面図	1/100	39	S-10 庁舎棟(本体) 大梁リスト3、小梁リスト	1/30	60	M-3 庁舎棟 衛生設備 2F平面図	1/100
11	A-11 庁舎棟(本体) 矩計図 1	1/30	40	S-11 庁舎棟(本体) スラブリスト1(中空スラブ)	1/30	61	M-4 庁舎棟 空調・換気設備 1F平面図	1/100
12	A-12 庁舎棟(本体) 矩計図 2	1/30	41	S-12 庁舎棟(本体) スラブリスト2、壁リスト、雑配筋図	1/20	62	M-5 庁舎棟 空調・換気設備 2F平面図	1/100
13	A-13 庁舎棟(本体) 矩計図 3	1/30	42	S-13 庁舎棟(本体) 軸組図	1/100			
14	A-14 庁舎棟(通信指令室) 矩計図	1/30	43	S-14 庁舎棟(本体) 補強壁配筋図	1/30			
15	A-15 庁舎棟(車庫) 矩計図	1/30	44	S-15 庁舎棟(通信指令室) 基礎伏図、鉄骨伏図	1/30・100			
16	A-16 庁舎棟 1F天井伏図	1/100	45	S-16 庁舎棟(通信指令室) 軸組図	1/100			
17	A-17 庁舎棟 2F・PHF天井伏図	1/100	46	S-17 庁舎棟(車庫) 基礎・地中梁・柱リスト	1/30・50			
18	A-18 庁舎棟 建具表 1	1/50	47	S-18 庁舎棟(車庫) 基礎伏図、梁伏図、軸組図	1/100			
19	A-19 庁舎棟 建具表 2	1/50	48	S-19 訓練塔 構造図	1/30・100			
20	A-20 庁舎棟 建具表 3	1/50	49	S-20 車庫棟 基礎伏図、基礎詳細図	1/100			
21	A-21 訓練塔 平面図、断面図	1/50	50	S-21 車庫棟 梁伏図、軸組図、部材リスト	1/100			
22	A-22 訓練塔 立面図	1/50						
23	A-23 車庫棟 平面図、立面図、断面図、建具表	1/50・100						
24	A-24 車庫棟 矩計図	1/30						
25	A-25 資機材車庫棟 平面図・立面図・断面図	1/100						
26	A-26 外構撤去図、家屋調査リスト	1/300						
27	A-27 外構撤去工作物(埋設)詳細図	1/30						
28	A-28 構内整備図	1/300						
29	A-29 仮設計画図(参考)	1/300						

新発田広域消防本部		新発田地域広域事務組合	
解体工事設計図			
建物概要			
工事場所	新潟県新発田市新栄町1丁目地内		
敷地面積	6,891.00㎡		
用途	消防署		
構造・階数	RC造+S造 地上2階建 ほか9棟(工作物含む)		
建築面積	1,157.00㎡ (うち解体 1,157.00㎡)	延べ面積	1,628.28㎡ (うち解体 1,628.28㎡)
区域区分	市街化区域	用途地域	第1種住居地域
防火地域	法22条指定区域		
その他の区域	騒音規制法による規制 ※あり(第2種区域)	※あり(第1種区域)	なし
	振動規制法による規制	※あり(第1種区域)	なし
	市街地景観エリア		

※建物の棟別の詳細は、設計図を参照。

施工条件	
項目	適用・条件等
①作業時間等	※指定あり・指定なし (ありの場合の条件) ○騒音、振動規制法による作業禁止日、時間帯(特定建設作業に限る。) ○夜間作業 ※行わない
②駐車場その他	工事前の駐車場所 ○場内(任意) ・図示 資機材の置場所 ○場内(任意) ・図示
③着手前対応	※工事に先立ち、周辺住民に対して工事説明を行なう。(発注者同席予定) (説明会予定時期・令和 年 月 日頃 ○実施時期未定)
④その他施工条件	※建築物除却届 ※必要(施工者作成とする。) ・工事時期と同時に、備品等の撤去作業を別途予定している。 解体工事にあたり、備品撤去作業の受注者十分な調整を行うこと。 ・本工事範囲は基礎解体までとし、杭の撤去は行わない。

仕様書

I 共通仕様

- 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版」(以下「標仕」という。)による。
- 解体共仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
 - 「工事請負契約書」を「新発田市建設工事請負契約約款」に読み替える。
 - 「監督職員」を「監督員」に読み替える。
 - 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。
- 次の各号に該当する解体共仕の項目について、解体共仕の規定を別表に置き換えて適用する。
 - 1章 各章共通事項 1節 共通事項 1.1.2 用語の定義の(7)、(9)、(t)
 - ” 1.7.1 工事検査の(2)及び(3)
- 解体共仕の次の項目の規定は適用しない。
 - 1章 1.1.2 用語の定義の(ソ)
 - ” 1.7.2 技術検査

別表(建築工事)

号	項目	置き換え後の解体共仕の規定
	1章 各章共通事項 1節 共通事項	
(1)	1.1.2 用語の定義	(7)「監督員」とは、約款第10条の規定に基づき受注者に通知された者をいう。

(1)	1.1.2 用語の定義	(t)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査(ただし、②に係る検査を除く。)を含む。 ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡し指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたとときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1.7.1 工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

II 特記仕様

- 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と※印の付いた場合は、共に適用する。
- 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図または当該表を示す。特記事項に記載の()内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
- 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① ① 工事実績情報の登録	※請負工事費 500万円以上の場合は登録する。(1.4)
	② ② 監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 1 建築工事の施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。
	③ ③ 電気保安技術者	※要() (1.3.3)
	④ ④ 解体工事における監督者の要件	※解体工事の施工は、次のいずれかの者の監督の下で実施すること。 1 解体工事施工技士 2 解体工事の実務経験が1年以上の者で、建設リサイクル法で定める「技術管理者」の資格要件を有する者。
	⑤ ⑤ 施工条件	※解体共仕によるほか、左記施工条件及び図示による。(1.3.5)
	⑥ ⑥ 交通安全管理(出入りの管理)	※工事現場への出入口には、解体工事期間中、交通誘導員等を配置し、公衆の交通に支障をあたえないようにしなければならない。又、近接して他の建設工事等が行われる場合には、施工者間で交通の誘導について十分な調整を行い、交通の安全を図らなくてはならない。
	(巡 視)	※工事現場への車両等を出入りさせる場合には、道路構造物及び交通安全施設等に損害を与えることのないよう注意しなければならない。なお損傷させた場合は、直ちに当該管理者の指示により復旧しなければならない。
	⑦ ⑦ 周辺構造物対策	※工事にあたって、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破壊、汚損等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。
	⑧ ⑧ 公共設備等への対策	※工事による影響があると思われる範囲内の公共埋設物、架空線等の処理等について、十分配慮して工事しなければならない。公共の埋設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法等を決定しておかなければならない。
	⑨ ⑨ 発生材の処理	※構外搬出適切処理 発注者に引渡しを要する発生材 ○PCB含有物 ・金属類 工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの
	⑩ ⑩ 石綿含有建材の事前調査	工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。(1.4.1) 調査範囲 ○解体建物全般 ・図示 貸与資料 ○ASベスト調査報告書、既存設計図 分析による石綿含有の調査 ○行う(下表による) ・行わない 材料名 定性分析方法 定量分析方法 アスベスト防水材、伸縮目地 ・ 各1箇所 ・ 箇所 合成ゴム系シート防水材 ・ 1箇所 ・ 箇所 FS、FT、ビニルクロス、GB-R ・ 各1箇所 ・ 箇所 DR、GB-D、有孔バブルメント板 ・ 各1箇所 ・ 箇所 上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。 調査範囲 ・図示 調査方法 ・

1 一般共通事項	12 完成図等	※下記のものを作成し提出する。作成方法・部数等は、監督員の指示による。 ○案内図及び配置図 ○残置物等の配置図 ※竣工図(A3 2部) ○CADデータ ○下記図面をCADデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。 案内図、配置図、残置物等の配置図、その他監督員が指示した図面	
	⑬ ⑬ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。	
	⑭ ⑭ 工事完成写真	工事履行後、整理のうえ監督員に提出する。提出部数 2部 工事完成写真は、着手前の敷地全景(敷地の位置は朱線で記入)、外部全景4面、内部主要各室、屋外施設その他監督員が必要と認め指示した箇所等とする。	
	⑮ ⑮ 工事施工状況写真	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版版)を参考とする。 提出部数 2部 印刷物若しくは電子データ(DVD等のメディア)で提出する。	
	② 仮設工事	① 騒音・粉じん等対策	※防音パネル ○防音シート ・養生シート (2.2.1) 防音パネルの設置範囲と高さ 設置範囲: 高 さ: (2.2.2)
		② 足場その他	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	③ 解体施工	③ 総合仮設計画	※現場作業の安全確保、及び第三者災害の防止を目的として総合仮設計画を作成し、監督員の承諾を受ける。
		4 監督員用事務所等	・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・ m程度を設ける。(2.3.1) ・仮設事務所の中に監督員用空間を m程度確保する。 ・監督員が使用できる備品として、下記のことを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・保護帽 ケ ・雨具 着 ・長靴 足 ・安全帯 組
		⑤ ⑤ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償)
		⑥ ⑥ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償)
		⑦ ⑦ 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。
③ ③ 事前措置		※浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。(3.2.1) ※オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油を処理し、洗浄等を行う。	
② ② 機器等の解体		※工事範囲内の機器類は、各種別ごとに分別解体する。(3.4.1) 設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、バッテリー・フロンガス等は関係法令に基づき適正に処分する。	
③ 基礎及び杭	杭の撤去 ※行う ○残置 (3.9.2) 残置または一部撤去の場合の処理 ※杭種、杭径、位置、杭頂部高さ等の記録を整備し、監督員に提出する。 解体方法 ※引抜き ・破砕 ・杭頭はつり(mまで) 引き抜いた杭の処理 ・ 杭撤去跡の処理 ・山砂 ・流動化処理土 ・セメントミルク ・ 杭の種類 ・過心力鉄筋コンクリートくい ・高強度プレストレスコンクリートくい ・場所打ちコンクリートくい ・木くい ・RCパイル		
	④ ④ さく、照明設備等の付属物	付属物の解体 ・行わない ○行う(・ ○図示) (3.10.1)	
	⑤ ⑤ 構内舗装等	樹木等の伐採・伐根 ・行わない ○行う(・ ○図示) (3.11.1) 支障となる樹木の移植 ・行わない ・行う(・ ○図示)	
	⑥ ⑥ 地下埋設物及び埋設配管	撤去する地下埋設物、埋設配管 ○あり(○図示 ・) ・なし (3.12.1)	

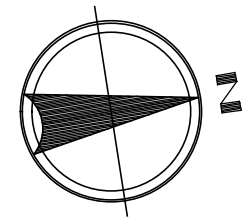
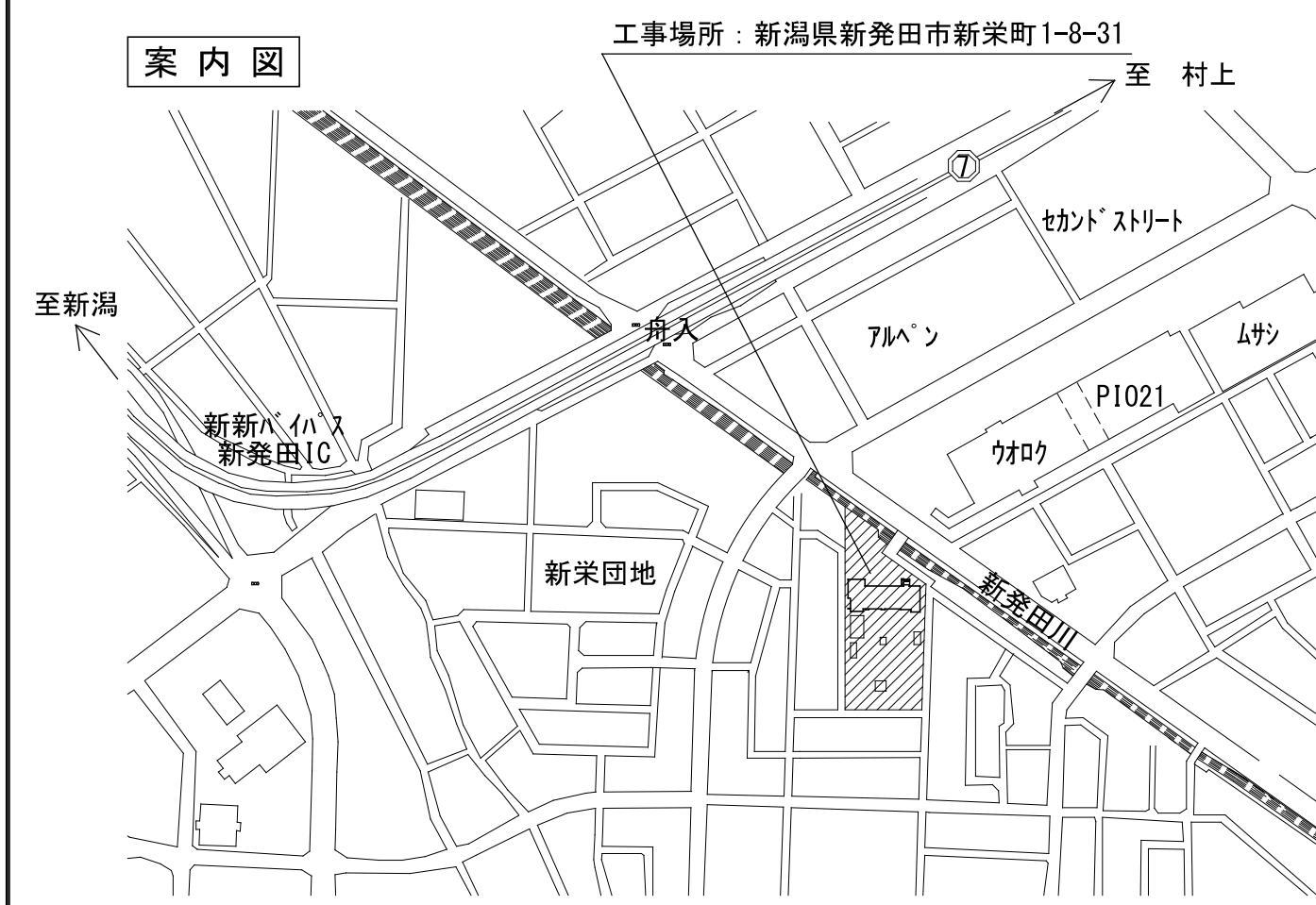
③ 解体施工	⑦ 解体後の整地	埋戻し及び盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (標仕3.2.3)(標仕表3.2.1) 発生土の処理 ○構内指示の場所 (○敷均し ・堆積) (標仕3.2.5) ・構外搬出適切処理(指定場所:) ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする	
	⑧ ⑧ 火気使用作業等	※解体工事時にガスバーナーでオイルタンクやアスファルト防水層の近くを切断する時、爆発や火災発生の危険性がある場合には、事前に所轄の消防署へ連絡し、適切な措置を講じて作業しなければならない。	
	④ 建設廃棄物の処理	① 再資源化等	中間処理、再資源化施設 ※「追加特記6 建設廃棄物の処理」による。(4.4.1) 再資源化する建設廃棄物 ※金属類 ※建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 ※資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 ※資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 ・廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ・硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ガラス 指定建設資材廃棄物としての木材の削減(焼却) ※不可 ・可 再資源化して現場で利用する建設廃棄物 ・
		② 処理に注意を要する建設廃棄物	処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1) ○せっこうボード(石綿含有) ・せっこうボード(ひ素・カドミウム含有) ・せっこうボード(上記以外) ・CCA処理木材(クロム・銅・ひ素化合物系防腐処理木材) 処理の方法 ○解体共仕第4章5節による。 施工に先立ち、処理計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。
	特別管理産業廃棄物の処理	⑤ ⑤ 廃石綿等	※6 石綿含有建材の除去及び処理による。(5.4.1(1))
		② PCB含有機器類	調査方法 ※製造所、製造年、型式等による調査 (5.4.1(2)) ・専門分析機関による微量PCB分析調査 調査対象 ○照明器具 ・ 上記のほかにも含有が疑われる機器があった場合は調査を行う。
		3 PCB含有シーリング材	事前調査等 ・行う(下記の要領で分析する) ・行わない (5.4.1(3)) 現場においてサンプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。 採取箇所 ※外壁目地 ・建具周囲目地 ・図示 採取箇所数 ・部材が異なる毎に1箇所 ・図示 分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う。 調査範囲 ※工事範囲全て ・図示 調査内容 シーリング使用部位及び長さの確認 施工範囲と工事監視区分の確認 仮設計画 廃棄物等の搬出方法
		4 廃油	処理方法 ・焼却処分 ・中間処理施設による再生処理 (5.4.1(4))
	6 石綿含有建材の除去及び処理	5 廃酸・廃アルカリ	処理方法 ・中和処理 ・焼却処分 (5.4.1(5)) ・中間処理施設による再生処理
		6 ダイオキシソ類	サンプリング調査 ・行う ・行わない (5.4.1(6)) 材料名 調査箇所 測定方法
		⑥ ⑥ 共通	※建築物の解体等工事、石綿除去について、以下の基準を適用する。 ○建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等に基づく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(令和6年1月31日付け 技術上の指針第25号) ○新石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止 マニ74(建設業労働災害防止協会) ○建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底 マニ74 令和6年2月(厚生労働省、環境省) 石綿粉じん濃度測定 ・行う ・行わない [6.1.3] 測定時期、場所及び測定点 適用測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数(各処理作業室ごと) ・測定1 処理作業前 処理作業室内 ・()点 ○測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ○(1)点 ・測定3 処理作業中 処理作業室内 ・()点 ・測定4 仕上り作業終了後 ・()点 ・測定5 集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合) ・出口吹出し風量1m/s以下の位置各1点 ・()点 ○測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ○(6)点 ・測定7 処理作業後 処理作業室内 ・()点 ○測定8 (隔離シート撤去前) 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 ○(1)点

設計者等	工事名称	新発田広域消防本部解体工事		A-1	
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第24760号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	図面名称	解体工事特記仕様書 1	縮尺		N, S
	新発田地域広域事務組合				

<p>⑥ 石綿含有建材の除去及び処理</p> <p>② 石綿粉じん濃度測定</p> <p>3 石綿含有吹付け材の除去</p> <p>4 石綿含有保温材等の除去</p> <p>5 除去した石綿含有吹付け材等のこん包及び飛散防止</p> <p>⑥ 石綿含有成形板の除去</p> <p>⑦ 石綿含有仕上塗材の除去</p> <p>⑧ 除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等</p>	<p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">測定名称</th> <th colspan="3">測定方法</th> </tr> <tr> <td>測定 4</td> <td></td> <td colspan="3">粉じん相対濃度(デジタル粉じん)計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リタイルハイパーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>○JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>ノズル径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定 6</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定 7</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定 8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>除去工法 (6.3.2) ※解体共仕第6章3節による。</p> <p>除去工法 (6.4.1) ※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらして行う。 ・掻き落とし・破碎・切断等による除去を行う。 ※「3 石綿含有吹付け材の除去」により、作業場を隔離する。</p> <p>除去した石綿含有吹付け材・保温材等のこん包及び飛散防止 (6.3.2)(6.4.3) ※密封処理(二重袋梱包) ※湿潤化 ・固化化(※セメント固化)</p> <p>作業場の区画 (6.5.1) 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 石綿含有成形板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>使用部位</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>塩ビシート・塩ビタイル</td> <td>内部床</td> <td>2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニルクロス</td> <td>内部壁・天井</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>GB-R</td> <td>内部壁・天井</td> <td>9・12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>DR、GB-D</td> <td>内部天井</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有孔塩ビシート板</td> <td>内部壁・天井</td> <td>6.3</td> <td></td> </tr> </table> <p>※上記以外に石綿含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。</p> <p>除去工法 (6.6.1) ・集じん装置付き超高压水洗工法 ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ○剥離剤併用手工具ケレン工法及び、集塵装置付きディスクグラインダー工法 石綿則及び大気汚染防止法に基づき除去を行い、定められた工法による除去が困難な場合は、監督職員と協議すること。</p> <p>除去した石綿等の処理 (6.3.3)(6.4.3)(6.5.3)(6.6.4) ※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分 ○中間処理 ○アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理 ・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理</p>	測定名称		測定方法			測定 4		粉じん相対濃度(デジタル粉じん)計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リタイルハイパーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			測定 5					測定名称	ノズル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	・測定 5	25	5	30	・測定 6	47	10	120	・測定 7	47	10	240	・測定 8				材料名	使用部位	厚さ(mm)	備考	塩ビシート・塩ビタイル	内部床	2.5		ビニルクロス	内部壁・天井	—		GB-R	内部壁・天井	9・12		DR、GB-D	内部天井	9		有孔塩ビシート板	内部壁・天井	6.3		<p>⑦ 追加特記</p> <p>5 工事機械(移動式クレーン) ※移動式クレーンの選定に当たっては、自立できるもので、施工条件、近隣環境等と施工計画との関連を検討して、安全な作業ができる能力を持った機械を選定しなければならない。 ※移動式クレーンを使用する場合には、作業範囲、作業条件を考慮して、安定度、接地圧、アウトリガーの反力等の検討・確認を行い、適切な作業地盤上で使用しなければならない。 ※移動式クレーンを使用する場合には、高所及び敷地周辺から、吊荷、吊具等の落下、飛散等に十分注意すると共に、これらによる危害を防止するための措置を講じなければならない。</p> <p>(排出ガス対策型等建設機械) ※共通事項特記仕様書「排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書」による。</p> <p>⑥ 建設廃棄物の処理等</p> <p>① 再生資材の利用 下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>再生資材名</th> <th>規格</th> <th>使用箇所</th> <th>再資源化施設名・所在地</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 建設発生土の利用 盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>発注機関</th> <th>工事名</th> <th>発生場所</th> <th>施工会社名・連絡先</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3 建設発生土の搬出 工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。</p> <table border="1"> <tr> <th>受入工事名/施設名称</th> <th>工事場所/施設所在地</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>連絡先</th> <th>仮置場所の有無</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>備考</th> <td></td> </tr> </table> <p>④ 建設廃棄物の搬出 工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。</p> <table border="1"> <tr> <th>搬出する廃棄物名</th> <th>コンクリートがら</th> <th>アスファルトコンクリート</th> </tr> <tr> <th>処理施設名称</th> <td>(株)石井建材</td> <td>エイ・エックス(株)</td> </tr> <tr> <th>施設所在地</th> <td>新発田市大友宇投島3432番外9筆</td> <td>北蒲原郡聖籠町次第浜長山4064-4</td> </tr> <tr> <th>連絡先</th> <td>0254-25-2125</td> <td>0254-41-3831</td> </tr> <tr> <th>備考</th> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>搬出する廃棄物名</th> <th>がれき類/ガラス・陶器くず類/廃石膏ボード類/廃プラスチック類/繊維くず類/解体系混合廃棄物類/蛍光灯管類/石綿含有成形板(内装材)</th> </tr> <tr> <th>処理施設名称</th> <td>(株)大橋商会東港工場</td> </tr> <tr> <th>施設所在地</th> <td>新潟市北区太郎代787-1</td> </tr> <tr> <th>連絡先</th> <td>025-257-4588</td> </tr> <tr> <th>備考</th> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>搬出する廃棄物名</th> <th>木くず類</th> <th>金属くず</th> </tr> <tr> <th>処理施設名称</th> <td>(株)長谷川建設破砕再生工場</td> <td>(株)セキヤ</td> </tr> <tr> <th>施設所在地</th> <td>新発田市真野原外1628-5</td> <td>新潟市北区太郎代856-64</td> </tr> <tr> <th>連絡先</th> <td>0254-41-2063</td> <td>025-255-3835</td> </tr> <tr> <th>備考</th> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>搬出する廃棄物名</th> <th>アスベスト含有塗材・機器類</th> </tr> <tr> <th>処理施設名称</th> <td>中越環境開発(株)</td> </tr> <tr> <th>施設所在地</th> <td>柏崎市大字東長島宇泥亦</td> </tr> <tr> <th>連絡先</th> <td>0258-47-0149</td> </tr> <tr> <th>備考</th> <td></td> </tr> </table> <p>上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。 なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p> <p>5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。</p> <p>6 再生資源利用計画書を作成するものとする。</p> <p>7 再生資源利用促進計画書を作成するものとする。</p> <p>8 自ら産業廃棄物を運搬・処分する場合以外は、委託契約書の写しを提出すること。</p> <p>9 特殊な副産物の処理等については、解体共仕第7章3節による。</p> <p>10 協議について 建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、1～9の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。</p>	再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考						発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考						受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地			連絡先	仮置場所の有無			備考		搬出する廃棄物名	コンクリートがら	アスファルトコンクリート	処理施設名称	(株)石井建材	エイ・エックス(株)	施設所在地	新発田市大友宇投島3432番外9筆	北蒲原郡聖籠町次第浜長山4064-4	連絡先	0254-25-2125	0254-41-3831	備考			搬出する廃棄物名	がれき類/ガラス・陶器くず類/廃石膏ボード類/廃プラスチック類/繊維くず類/解体系混合廃棄物類/蛍光灯管類/石綿含有成形板(内装材)	処理施設名称	(株)大橋商会東港工場	施設所在地	新潟市北区太郎代787-1	連絡先	025-257-4588	備考		搬出する廃棄物名	木くず類	金属くず	処理施設名称	(株)長谷川建設破砕再生工場	(株)セキヤ	施設所在地	新発田市真野原外1628-5	新潟市北区太郎代856-64	連絡先	0254-41-2063	025-255-3835	備考			搬出する廃棄物名	アスベスト含有塗材・機器類	処理施設名称	中越環境開発(株)	施設所在地	柏崎市大字東長島宇泥亦	連絡先	0258-47-0149	備考				
測定名称		測定方法																																																																																																																																														
測定 4		粉じん相対濃度(デジタル粉じん)計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リタイルハイパーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																														
測定 5																																																																																																																																																
測定名称	ノズル径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																													
・測定 5	25	5	30																																																																																																																																													
・測定 6	47	10	120																																																																																																																																													
・測定 7	47	10	240																																																																																																																																													
・測定 8																																																																																																																																																
材料名	使用部位	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																													
塩ビシート・塩ビタイル	内部床	2.5																																																																																																																																														
ビニルクロス	内部壁・天井	—																																																																																																																																														
GB-R	内部壁・天井	9・12																																																																																																																																														
DR、GB-D	内部天井	9																																																																																																																																														
有孔塩ビシート板	内部壁・天井	6.3																																																																																																																																														
再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考																																																																																																																																												
発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考																																																																																																																																												
受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地																																																																																																																																															
連絡先	仮置場所の有無																																																																																																																																															
備考																																																																																																																																																
搬出する廃棄物名	コンクリートがら	アスファルトコンクリート																																																																																																																																														
処理施設名称	(株)石井建材	エイ・エックス(株)																																																																																																																																														
施設所在地	新発田市大友宇投島3432番外9筆	北蒲原郡聖籠町次第浜長山4064-4																																																																																																																																														
連絡先	0254-25-2125	0254-41-3831																																																																																																																																														
備考																																																																																																																																																
搬出する廃棄物名	がれき類/ガラス・陶器くず類/廃石膏ボード類/廃プラスチック類/繊維くず類/解体系混合廃棄物類/蛍光灯管類/石綿含有成形板(内装材)																																																																																																																																															
処理施設名称	(株)大橋商会東港工場																																																																																																																																															
施設所在地	新潟市北区太郎代787-1																																																																																																																																															
連絡先	025-257-4588																																																																																																																																															
備考																																																																																																																																																
搬出する廃棄物名	木くず類	金属くず																																																																																																																																														
処理施設名称	(株)長谷川建設破砕再生工場	(株)セキヤ																																																																																																																																														
施設所在地	新発田市真野原外1628-5	新潟市北区太郎代856-64																																																																																																																																														
連絡先	0254-41-2063	025-255-3835																																																																																																																																														
備考																																																																																																																																																
搬出する廃棄物名	アスベスト含有塗材・機器類																																																																																																																																															
処理施設名称	中越環境開発(株)																																																																																																																																															
施設所在地	柏崎市大字東長島宇泥亦																																																																																																																																															
連絡先	0258-47-0149																																																																																																																																															
備考																																																																																																																																																
<p>⑦ 追加特記</p> <p>① 公共事業労務費調査への協力</p> <p>② 工事監理方式</p> <p>③ 適用基準等</p> <p>④ 工事成績評定</p> <p>⑤ 工事機械(機械の選定)</p> <p>(組立及び解体)</p> <p>(使用及び移動)</p>	<p>※協力する</p> <p>共同監理 ・ 有り ・ 無し</p> <p>・ 営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室監修)</p> <p>・</p> <p>※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は、工事運行マニュアルによる。)</p> <p>※機械の選定に当たっては、地域の安全及び環境対策上、転倒、騒音、振動等について十分注意して行なわなければならない。また工事規模、施工方法等に見合った、安全な作業ができる能力をもった機械を選定しなければならない。機械の能力を十分に把握・検討し、その能力を超えて使用してはならない。</p> <p>※機械の組立及び解体に当たっては、機械に精通した者の直接の指導により、定められた手順を厳守しなければならない。</p> <p>※建設機械を使用し又は移動させる場合は、機械類に関する関係法令を厳守し、架線その他の構造物に接触し、若しくは定められた範囲以上に近接し、又は道路等に損害を与えることがないようにしなければならない。 ※建設機械を動作させる範囲は、原則として工事現場内としなければならない。やむを得ず工事現場外で使用させる場合には、作業範囲内へ立ち入りを制限する等措置を講じなければならない。 ※架線、構造物又は工事現場の境界に近接して建設機械を使用する場合には、車止めの措置、ブームの回転に対するストッパーの使用、近接電線に対する絶縁材の装着、見張り員の配置等の措置を講じなければならない。</p>																																																																																																																																															

設計者等	工事名称 新発田広域消防本部解体工事	
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	図面名称 解体工事特記仕様書 2	縮尺 N, S
	新発田地域広域事務組合	

案内図



■解体工事建物等一覧

区分	No.	建物名	構造・規模	階	床面積 (築造面積)	最高高さ	建設年	備考
庁舎棟	①-1	本体	RC造2階	1	572.84 m ²	13.300 m	昭和56年(1981年)	平成25年(2013年)度に一部改修
				2	462.62 m ²			
				PH	22.96 m ²			
				計	1,058.42 m ²			
①-2	通信指令室	S造2階	1	— m ²	8.965 m	平成5年(1993年)増築	①-1: 本体に増築	
			2	118.70 m ²				
			計	118.70 m ²				
①-3	車庫	S造平屋			143.60 m ²	5.720 m	平成26年(2014年)増築	①-1: 本体に増築
合計					1,320.72 m ²			
付属棟	②	訓練塔	S造6層(一部CB積み)	—	(20.00) m ²	17.000 m	昭和56年(1981年)	工作物
	③	車庫棟	S造平屋	1	116.35 m ²	4.100 m	平成3年(1991年)	
	④	資機材車庫棟	木造平屋	1	50.10 m ²	5.418 m	平成21年(2009年)	
	⑤	倉庫	S造平屋	1	9.80 m ² /戸	2.118 m	—	ヨド物置エルモ(L4.5XW2.2)程度
	⑥	物置	S造平屋	1	1.49 m ²	1.613 m	—	ヨド物置エスモ(L1.65XW0.9)程度
	⑦	自転車置場	S造平屋	1	4.41 m ²	2.198 m	—	ヨド自転車置場(L2.45XW1.8)程度
	⑧	訓練孔	S造平屋	1	8.10 m ²	1.300 m	—	仮設工作物
	⑨	訓練塔A	枠組足場造	—	(≒14.58) m ²	≒7.600 m	—	仮設工作物
	⑩	訓練塔B	枠組足場造	—	(≒72.93) m ²	≒9.300 m	—	仮設工作物

■仮設工作物画像一覧

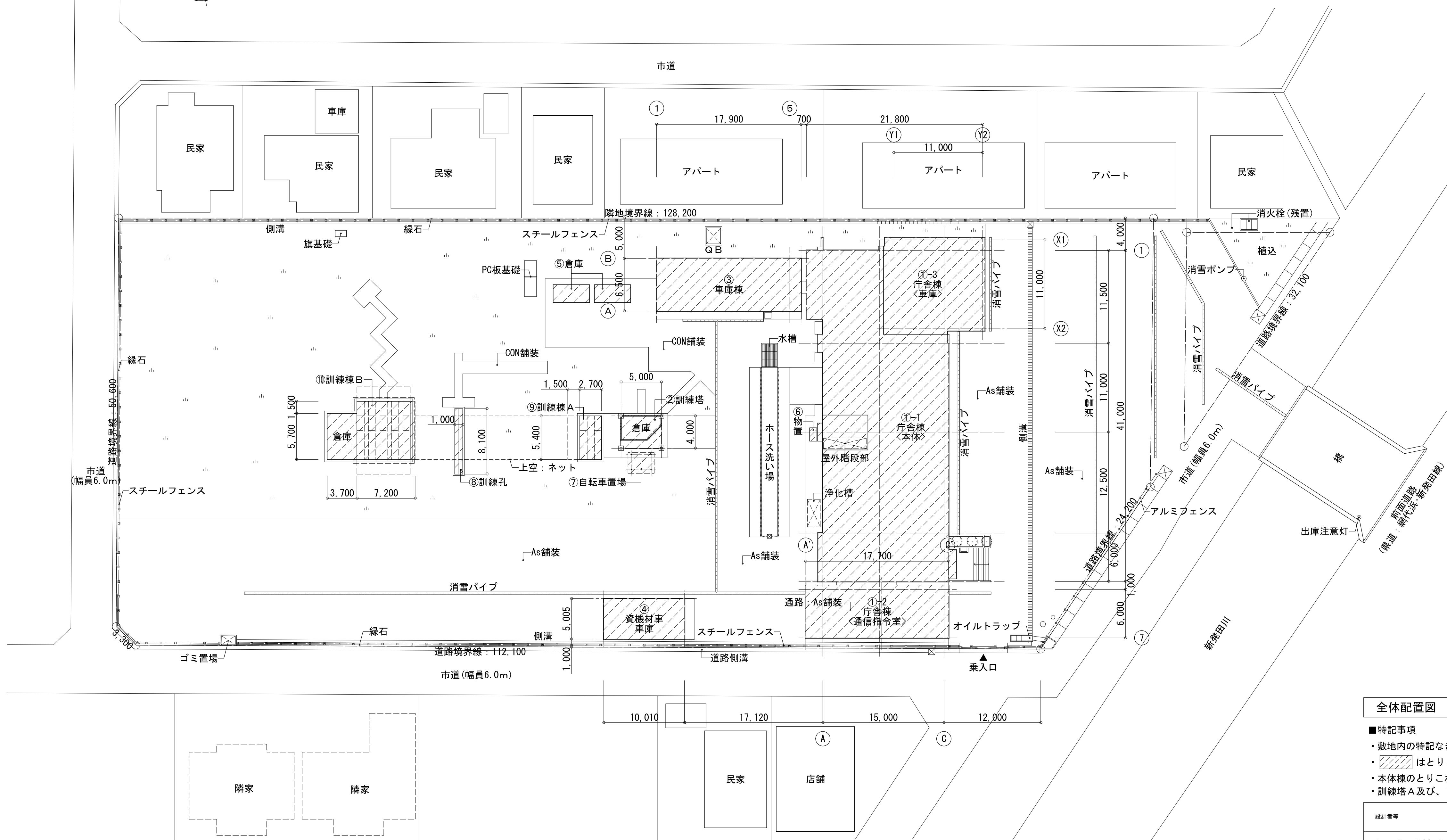
⑧訓練孔



⑨訓練塔A



⑩訓練塔B



全体配置図 S=1/300

■特記事項

- ・敷地内の特記なき建築物及び、築造物・工作物・付属物(埋設物含む)等は一式とりこわしとする。
- ・ はとりこわし対象建築物及び、工作物を示す。
- ・本体棟のとりこわし順は、本体両面側の外壁吹付材の撤去を行うため、通信指令室・車庫を先行してとりこわす。
- ・訓練塔A及び、Bの大きさは概ねの大きさを示す。

設計者等

あい設計株式会社

〒959-2453 新潟県新潟市三日月市 213番地
一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ) 第4483号
管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号
TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170

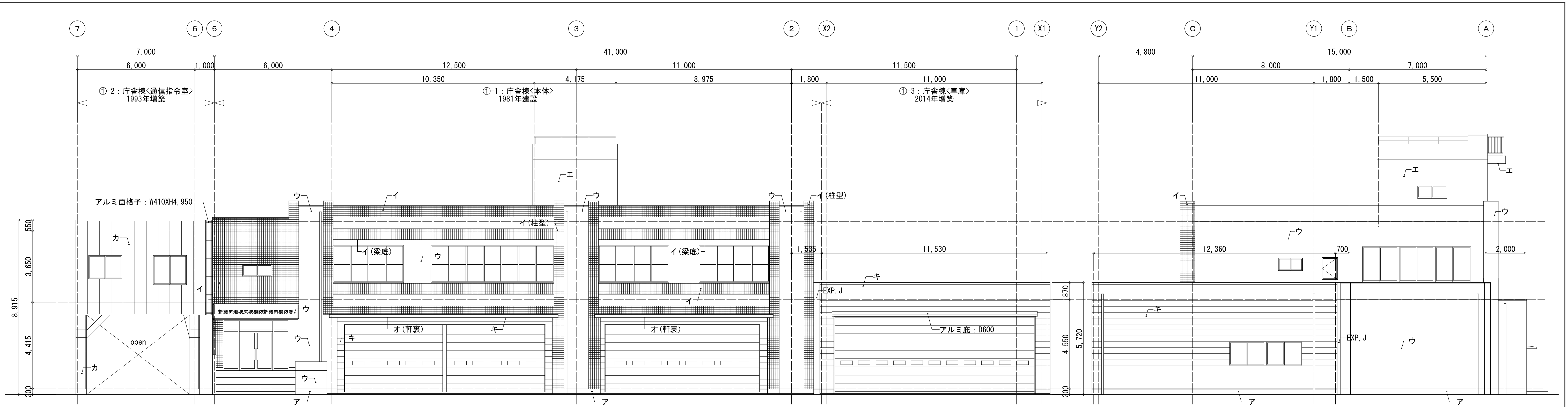
工事名称 新発田広域消防本部解体工事

図面名称 案内図、解体工事建物一覧
全体配置図

縮尺 1/300

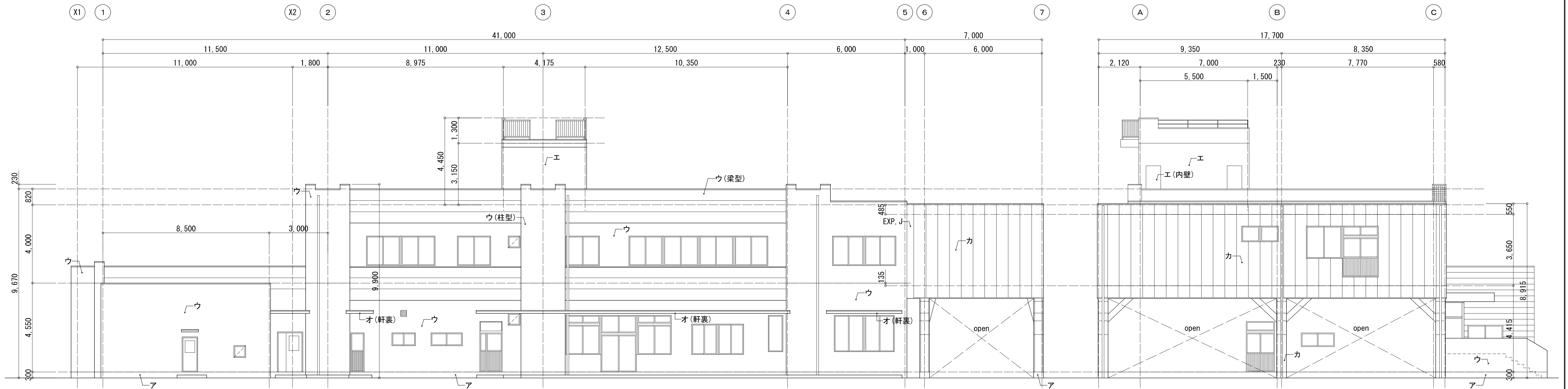
新発田地域広域事務組合

■庁舎棟 外部仕上表				■庁舎棟 内部仕上表																			
部位	場所	施工時期	仕上		備考	階	室名	床			巾木			壁			天井			備考			
			下地	内容				石綿区分	下地	仕上	石綿区分	下地	仕上	石綿区分	下地	仕上	石綿区分	下地	仕上		石綿区分	CH	
笠木	通信指令室	増築時(1993年)	-	アルミ笠木：W150	-	1	玄関	M	F S	L 3	C	人研	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-R、リシン吹付(一部：ビニルクロス)	L 3	2.600	ガラスマット：L3, 300XW1, 000(SUS枠)、SUSノンスリップ		
	車庫	増築時(2014年)	C	アルミ笠木：W250	-		廊下	M	F S	L 3	M	S O P	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-R、E P	L 3	2.600	R C手洗い・下流し：H700・H350(一部C B t 100) R Cライニング：H1, 000 アルミ手摺：φ34		
	本体-車庫間			アルミ製エキスパンションジョイント：W550(笠木タイプ)	-		事務室	O A	F T	L 3	B	V B	-	B	ビニルクロス	L 3	S	GB-D	L 3	2.900	P T：L1, 200XH1, 300 スロープ部：ラワン合板、F T(周囲：SUSアングル)		
屋根(ア)	P H屋根	建設時(1981年)	M	塗り防水(立上り：H400・機械基礎共)	-		食堂	M	F S	L 3	B	V B	-	B	ビニルクロス	L 3	S	DR	L 3	2.900	流し台：L1, 200、ガス台：L600 作業台：L500、吊戸棚：L1, 500 レンジフード：L600、ガス湯沸器 下り壁：GB-R t 9、A C		
屋根(イ)	本体 2 F屋根	建設時(1981年)	C	アスファルト防水(立上り共)	L 3		洗濯室	M	F S	L 3	C	モルタル	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-R、E P	L 3	2.600	ライニング：H1, 000 洗濯機パン：L900、洗濯用流し		
		改修時(2014年)	上配	合成高分子系ルーフィングシート防水 t 2.0(立上り・パラペット天端共)	-	伸縮目地(L 3)	SUS丸環：φ100	脱衣室	M	F S	L 3	C	木製	-	M	ビニルクロス	L 3	S	石綿セメント板、E P	L 3	2.500	手洗器	
屋根(ウ)	本体 2 F屋根	建設時(1981年)	C	合成ゴム系シート防水 t 2.0(立上り共)	L 3		浴室	M	磁器質タイル	-	M	同右	-	M	陶器質タイル	-	S	石綿セメント板、E P	L 3	2.350	(平均) ライニング：H500 浴槽(F R P)：W800XL1, 300		
		改修時(2014年)	上配	合成高分子系ルーフィングシート防水 t 2.0(立上り・パラペット天端共)	-		便所	M	F S	L 3	M	F S立上げ	L 3	M	陶器質タイル	-	S	GB-R、E P	L 3	2.400	ライニング：H1, 400 衛生器具、カガミ		
屋根(エ)	通信指令室 2 F屋根	増築時(1993年)	C	合成高分子系ルーフィングシート防水 t 2.0(立上り共)	-		防火衣 収納室	C	モルタル	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し(一部モルタル塗)	-	S	石綿セメント板、E P	L 3	2.600			
屋根(オ)	換気塔屋根	増築時(1993年)	C	合成高分子系ルーフィングシート防水 t 2.0	-		防災機材庫	M	F S	L 3	M	V B	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-R、E P	L 3	2.400			
屋根(カ)	本体 1 F屋根	建設時(1981年)	C	合成ゴム系シート防水 t 2.0(立上り共)	-		ホール	-	コンクリート 金ゴテ	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し	-	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	(平均) 4, 245			
		改修時(2014年)	M	合成高分子系ルーフィングシート防水 t 2.0(立上り・パラペット天端共)	-		車庫 1	-	コンクリート 金ゴテ	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し	-	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	(平均) 4, 245	ガーデンパン：L600		
屋根(キ)	ポーチ庇 屋根	建設時(1981年)	M	合成ゴム系シート防水 t 2.0(立上り共)	L 3		車庫 2	-	コンクリート 金ゴテ	-	-	コンクリート 打放し	-	S t	フレキシブルボード	-	-	Q Lデッキ表し 鉄骨梁：ロックウール t 25	-	(平均) 4, 895	コンクリート車止め：L600、L900		
屋根(ク)	車庫屋根	増築時(2014年)	C	合成高分子系ルーフィングシート防水 t 2.0(立上り・パラペット天端共)	-		乾燥室	C	モルタル	-	C	同右	-	C	モルタル	-	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	4.120			
外壁 柱型・梁型	本体 1~R F外壁	建設時(1981年)	C	アクリル系吹付タイル	L 3	柱型・梁型共	機械室	-	コンクリート 金ゴテ	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し	-	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	4.120			
			C	磁器質100角タイル	-	柱型・梁型共	発電機室	C	モルタル	-	C	同右	-	C	ロックウール t 25	-	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	4.120			
			C	アクリル系リシン吹付	L 3	階段上裏、P H R F手摺壁共	機械整備室	-	コンクリート 金ゴテ	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し	-	C	ロックウール t 25	-	4.120	壁開口塞ぎ：PL-L1, 800XH700 t 5		
			-	A L C板 t 100(2 F外壁)および、A L C板 t 50(1 F通路柱型)、アクリル系吹付タイル	-		機械倉庫	-	コンクリート 金ゴテ	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し	-	-	コンクリート打放し	-	2.320			
			C	モルタル t 20、アクリル系吹付タイル	-		危険物倉庫	-	コンクリート 金ゴテ	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し	-	-	コンクリート打放し	-	2.320			
地覆	庁舎棟	各建設時	C	R C補修	-		階段A・B 下倉庫	C	モルタル	-	-	同右	-	-	コンクリート打放し	-	-	コンクリート打放し	-	-			
庇・軒天	屋根面		C	防水モルタル t 30	-		会議室	M	F S	L 3	M	V B	-	M	ビニルクロス	L 3	S	DR	L 3	2.750	可動間仕切り壁		
	軒裏	建設時(1981年)	C	アクリル系リシン吹付	-		消防長室	M	F S	L 3	M	V B	-	M	ビニルクロス	L 3	S	DR	L 3	2.600	P T：L600XH1, 500		
	ポーチ 通用口軒天		S	石綿セメント板 t 6、アクリル系リシン吹付	L 3																		
RD / 堅樋	屋根面	-	-	RD(横型)：鋳鉄製RD φ100 / 堅樋：硬質塩ビ管φ100	-		事務室	M	F S	L 3	M	V B	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-D	L 3	2.700	P T：L900XH1, 500		
手摺	P H屋根	建設時(1981年)	-	SUS手摺：H1, 000、スチール手摺：H300	-		収納	M	F S	L 3	M	V B	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-D	L 3	2.400			
手摺壁・花壇壁	ポーチ	建設時(1981年)	C	アクリル系リシン吹付	L 3		倉庫	M	F S	L 3	M	V B	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-D	L 3	2.400			
犬走り	本体	建設時(1981年)	-	R C t 150金ゴテ	-		仮眠室 1	M	F S(一部、畳)	L 3	M	V B	-	M	E P	-	S	GB-D	L 3	2.700	床置きヒーター		
通路天井	通信指令室	増築時(1993年)	S	ケイカル板 t 8、E P	L 3		仮眠室 2	M	F S(一部、畳)	L 3	M	V B	-	M	E P	-	S	GB-D	L 3	2.700	床置きヒーター		
開口部	庁舎棟	各建設時	-	アルミオーバースライダー、アルミサッシ、アルミドア スチールドア、スチールガラリ	-		休憩室	W 2	F S	L 3	B	木製	-	S	有孔バルブセメント板	L 3	S	有孔バルブセメント板	L 3	2.500	上り框：60X60 SUSノンスリップ：W35		
断熱材	庁舎棟	建設時(1981年)	C	天井裏(スラブ下)：合成樹脂発泡材 t 25 / 外壁回り：合成樹脂発泡材 t 20	-		書庫 1	W 2	F S	L 3	B	V B	-	S	GB-R、ビニルクロス	L 3	S	GB-D	L 3	2.400			
耐火被覆	通信指令室	増築時(1993年)	S t	天井裏・外壁回り：GW t 100	-		書庫 2	W 2	F S	L 3	B	V B	-	S	GB-R、ビニルクロス	L 3	S	GB-D	L 3	2.500			
	通信指令室	増築時(1993年)	S t	鉄骨柱・梁・デッキP L裏：ロックウール t 30	-		書庫 3	M	F S	L 3	B	V B	-	M	E P	-	S	GB-D	L 3	2.400			
耐震補強	庁舎棟	増築時(2014年)	C	耐震補強用バンド：ポリエステルシート t 5.0(R C柱回り)	-	A通-2・4通柱型：H2, 400、C通-4通柱型：H2, 020	男子便所 女子便所	M	F S	L 3	M	F S立上げ	L 3	M	陶器質タイル	-	S	GB-D	L 3	2.400	男子便所：ライニング：H1, 300 カガミ		
整備工事							湯沸室	M	F S	L 3	M	V B	-	M	ビニルクロス	L 3	S	GB-R、E P	L 3	2.400	流し台：L1, 200、吊戸棚：L1, 200 ガス湯沸器		
共通事項																							
略号	内容			略号	内容			部位	内容(特記なきは以下とする)														
RC()	床：コンクリート直均し(種別)			NW	普通毛毛セメント板			床	仕上・下地モルタル：t 30														
	壁・天井：コンクリート打放し(種別)			メラミン化粧板	メラミン樹脂化粧板				F S：t 2.5、F T：t 5、ビニル床シート：t 2.0														
CB	コンクリートブロック積み			P T	スチールパーティション			巾木	タイルカーペット：t 6														
FS	複層ビニル床シート			T B	テラゾブロック t 30				1 F事務室のOAフロアは鋼製、2 Fはコンクリート製														
FT	複層ビニル床タイル			S O P	合成樹脂調合ペイント塗り			壁	2 F休憩室床下地はラワン合板 t 5.5捨て張り														
WF	フローリング合板			E P	合成樹脂エマルジョンペイント塗り				2 F通信指令室・ロッカー室床下地はラワン合板 t 12二重張り														
FB	フローリングブロック			D P	耐候性塗料塗り			外壁 内壁	人研・V B・モルタル・木製・F S立上げ：H100														
VB	ビニル幅木			W P	木材保護塗料塗り				モルタル：t 20、GB-R：t 12														
WB	木製幅木			C L	クリヤーラッカー塗り			天井	有孔バルブセメント板：t 6.3(天井共)、フレキシブルボード：t 6														
GB-R	せっこうボード			O S	オイルステイン塗り				内部R C壁面下地はモルタル t 20														
GB-D	化粧せっこうボード			R C B	コンクリート打放しE P			付属物	本体：P F板 t 20、GB-R t 12.5(G L工法)														
GB-S	シーリングせっこうボード			E r	外装薄塗材(砂壁状吹付)				通信指令室：GW t 100、S壁下地、GB-R t 12.5														
ケイカル板	けい酸カルシウム板(タイプ2)			S i	内装薄塗材			天井	DR：t 9(捨て張りGB-R：t 9)、NW：t 20														
DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)			E e	外装厚塗材(吹付)				回り縁：塩ビ製														
DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)			S t	スチール			2 F 天井裏	本体：P F板 t 20(R C打込み)														
P F板	押出法ポリスチレンフォーム断熱材								通信指令室：GW t 100数込み														
RW-B	ロックウールガラスクロス張り							付属物	ライニング：CB t 100積み、モルタル塗、天端：T B														
GW	グラスウール								手洗い・下流し仕上：T B														
特記事項																							
・ 図中不在の仕器や電気・機械機器等の取扱いについては協議とする。				-	アスベスト非含有建材			付属物	既存：既存仕上・下地														
・				L 1	アスベスト含有建材レベル 1																		
・				L 2	アスベスト含有建材レベル 2																		
・				L 3	アスベスト含有建材レベル 3																		
・																							
設計者等																							
あい設計株式会社										新発田広域消防本部解体工事													
〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地										図面名称										概尺			
一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(二)第4483号										(庁舎棟)内外部仕上表										N, S			
管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号										新発田地域広域事務組合										A-4			
TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170																							



庁舎棟 北側立面図 S=1/100

庁舎棟 西側立面図 S=1/100



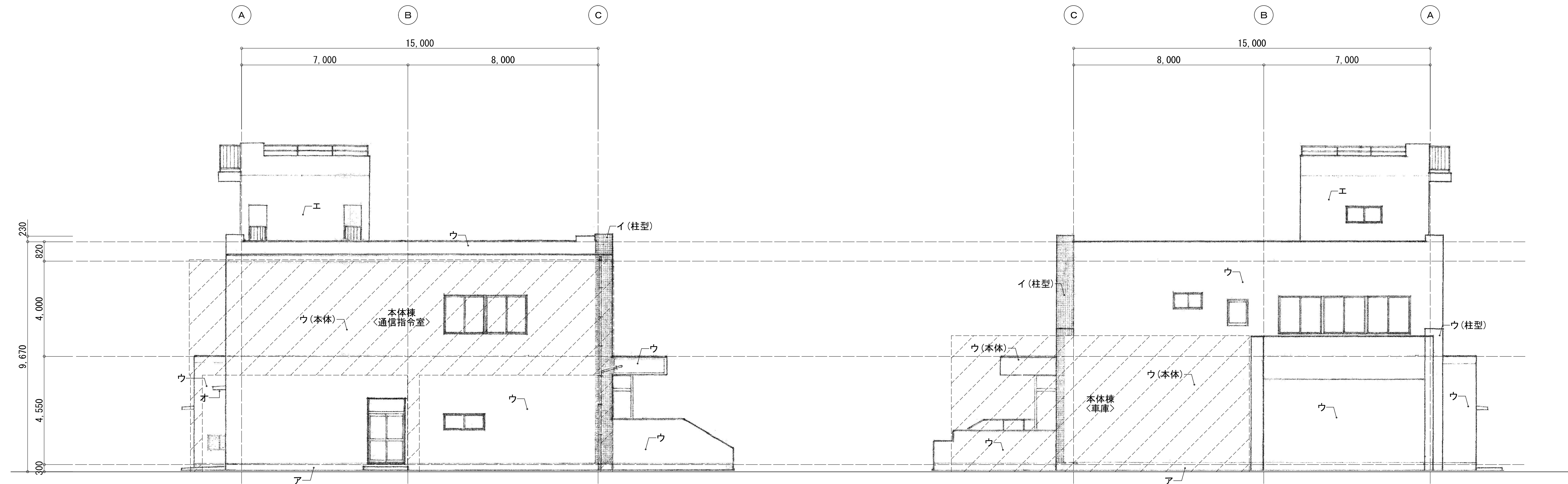
庁舎棟 南側立面図 S=1/100

庁舎棟 東側立面図 S=1/100

■外壁仕上凡例

場所	符号	部位	仕上内容	石綿区分
本体・車庫 通信指令室	ア	地覆	RC補修	含有無し
本体	イ	外壁	RC、磁器質100角タイル	含有無し
	ウ	外壁	RC、アクリル系吹付タイル	L3
	エ	外壁・内壁 階段上裏	RC、アクリル系リシン吹付	L3
	オ	軒裏	RC、アクリル系リシン吹付	含有無し
通信指令室	カ	外壁	A.L.C、アクリル系吹付タイル	含有無し
車庫	キ	外壁	中空押出成形セメント板t15、アクリル系吹付タイル	含有無し

設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田地域消防本部解体工事	図面名称 庁舎棟 立面図	縮尺 1/100	A-8
新発田地域広域事務組合				



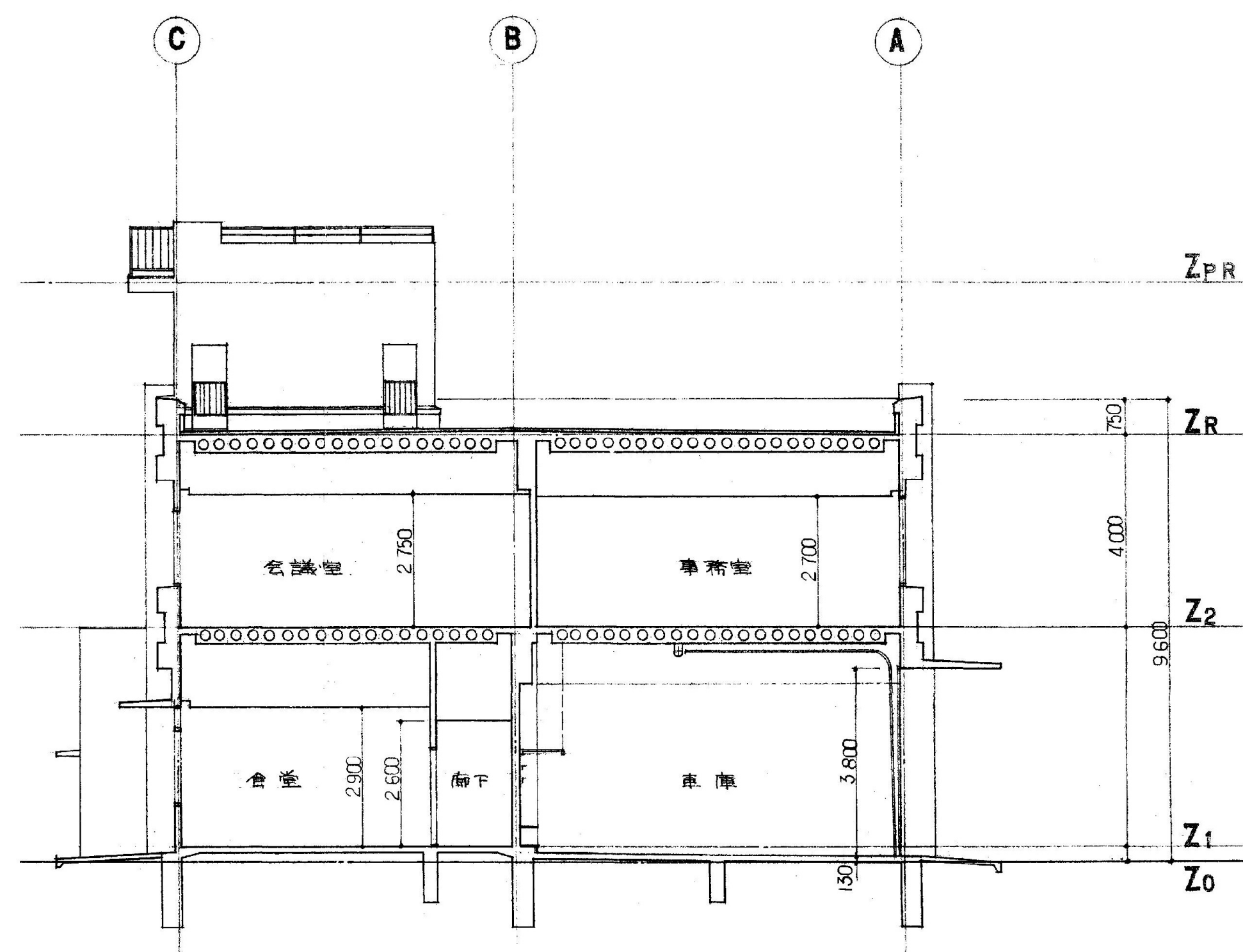
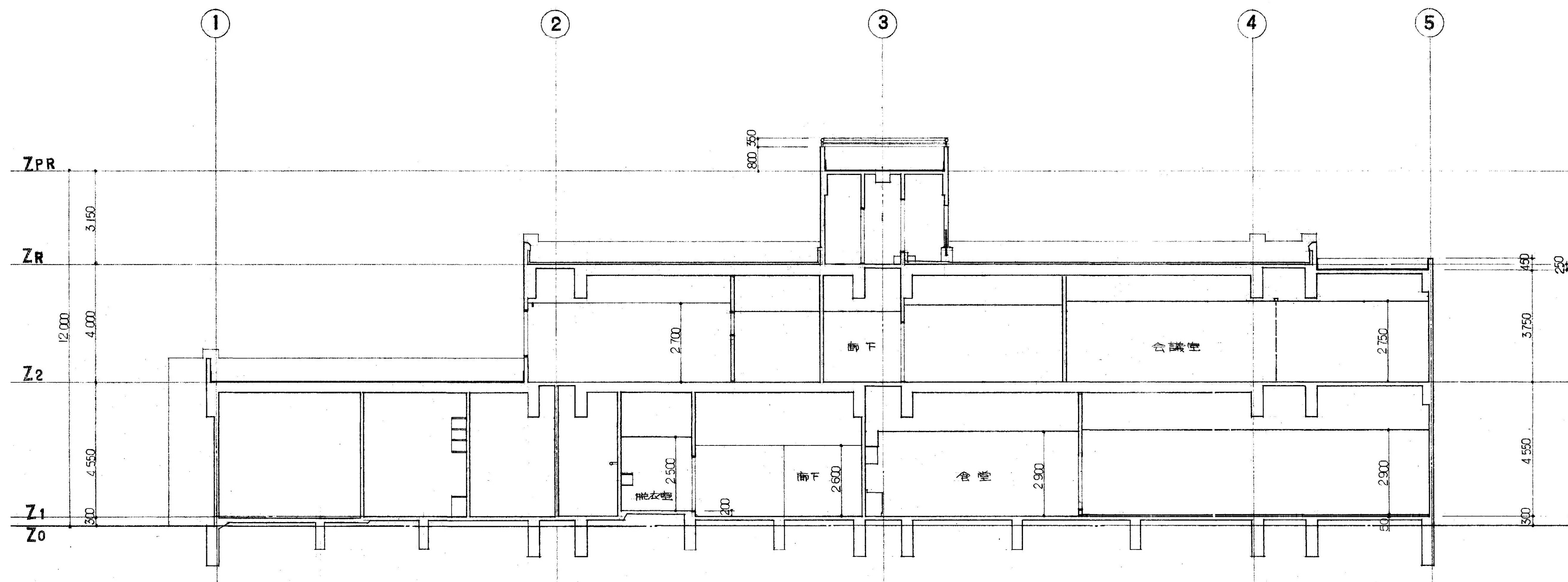
東側立面図(本体妻側) S=1/100

西側立面図(本体妻側) S=1/100

■外壁仕上凡例

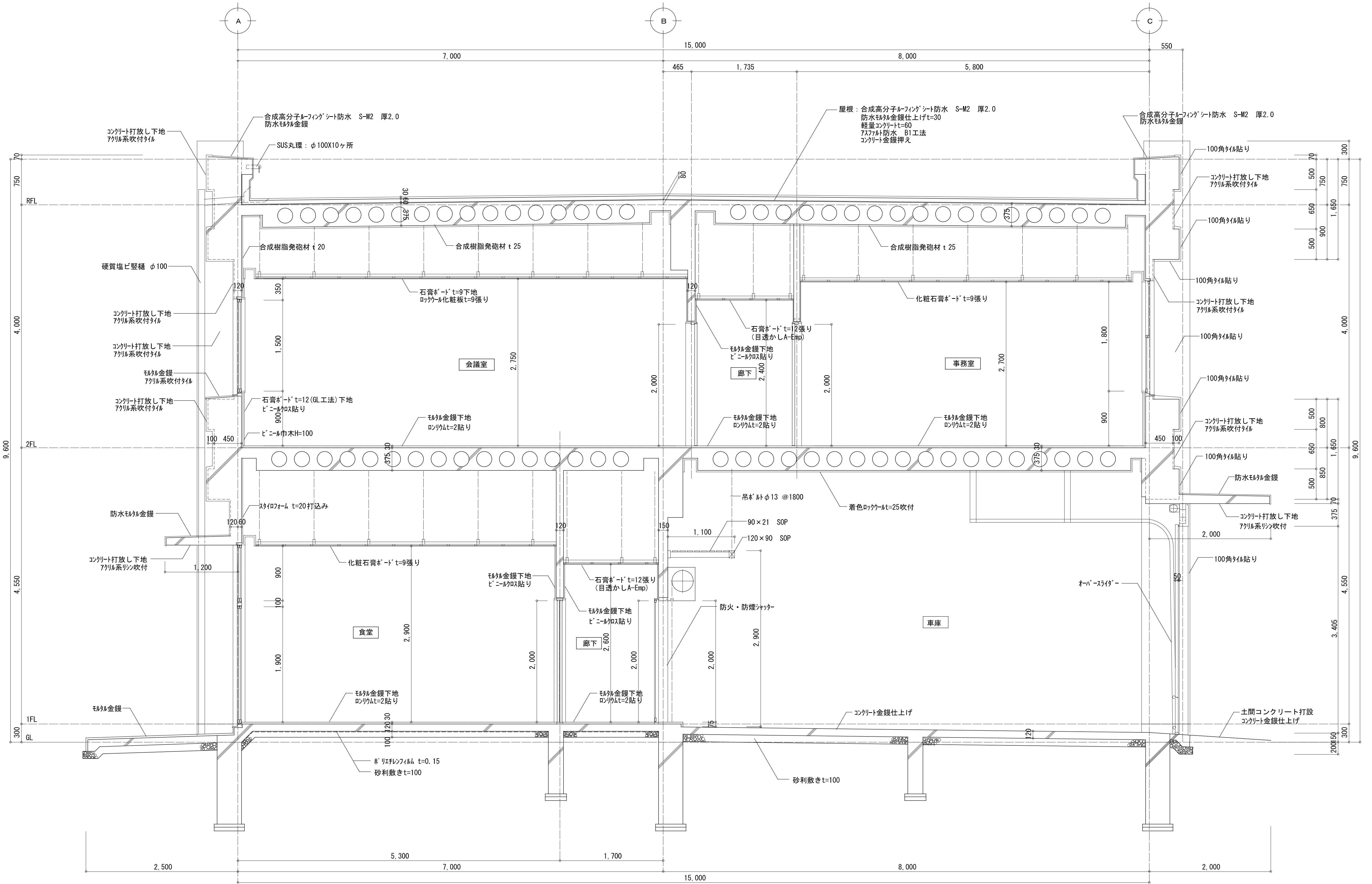
場所	符号	部位	仕上内容	石綿区分
本体・車庫 通信指令室	ア	地覆	RC補修	含有無し
本体	イ	外壁	RC、磁器質100角タイル	含有無し
	ウ	外壁	RC、アクリル系吹付タイル	L3
	エ	外壁・内壁 階段上裏等	RC、アクリル系リシン吹付	L3
	オ	軒裏	RC、アクリル系リシン吹付	含有無し
通信指令室	カ	外壁	ALC、アクリル系吹付タイル	含有無し
車庫	キ	外壁	中空押出成形セメント板t15、アクリル系吹付タイル	含有無し

設計者等	工事名称		A-9
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	新発田広域消防本部解体工事	縮尺	
	図面名称	1/100	
新発田地域広域事務組合			

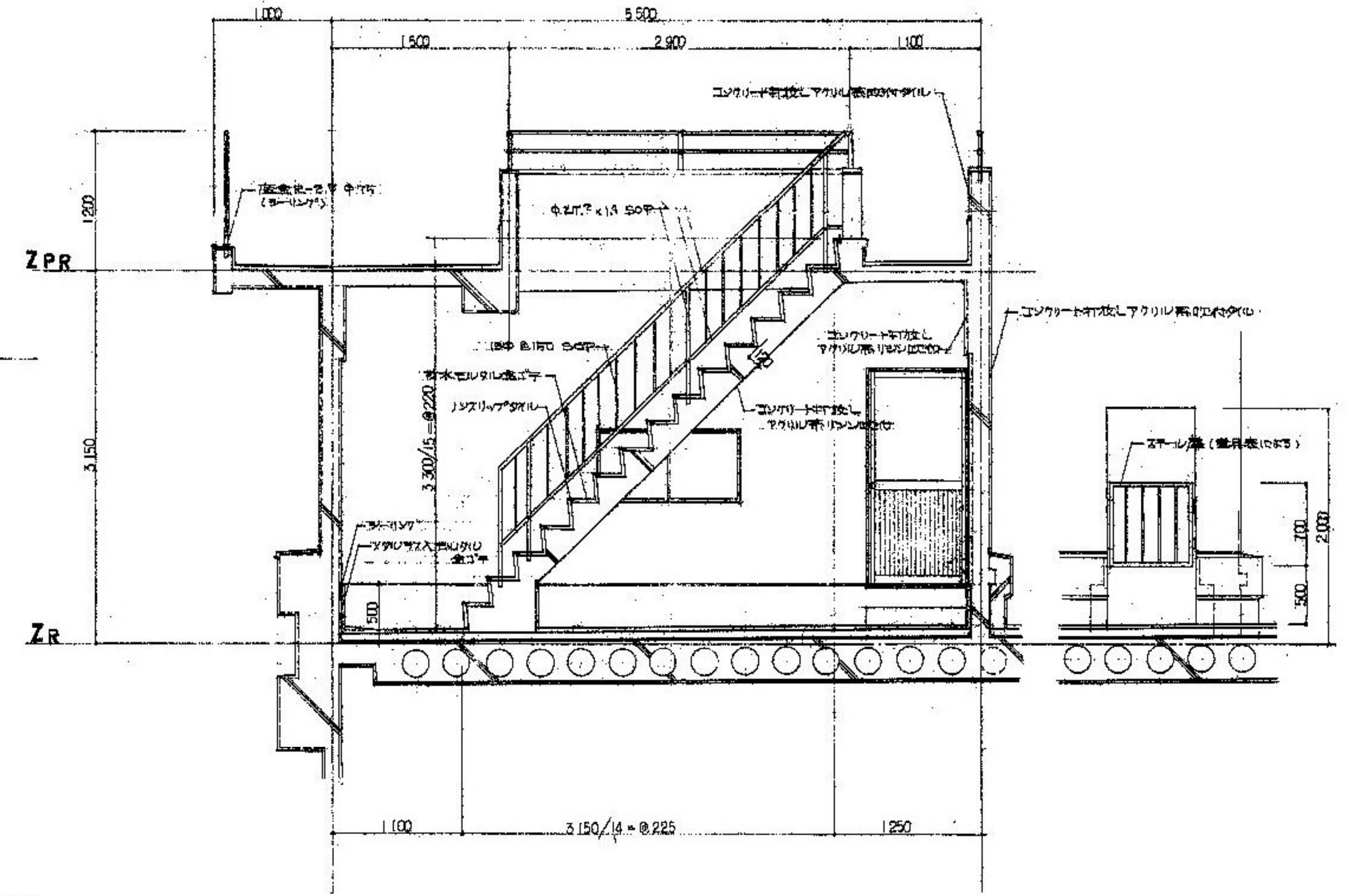
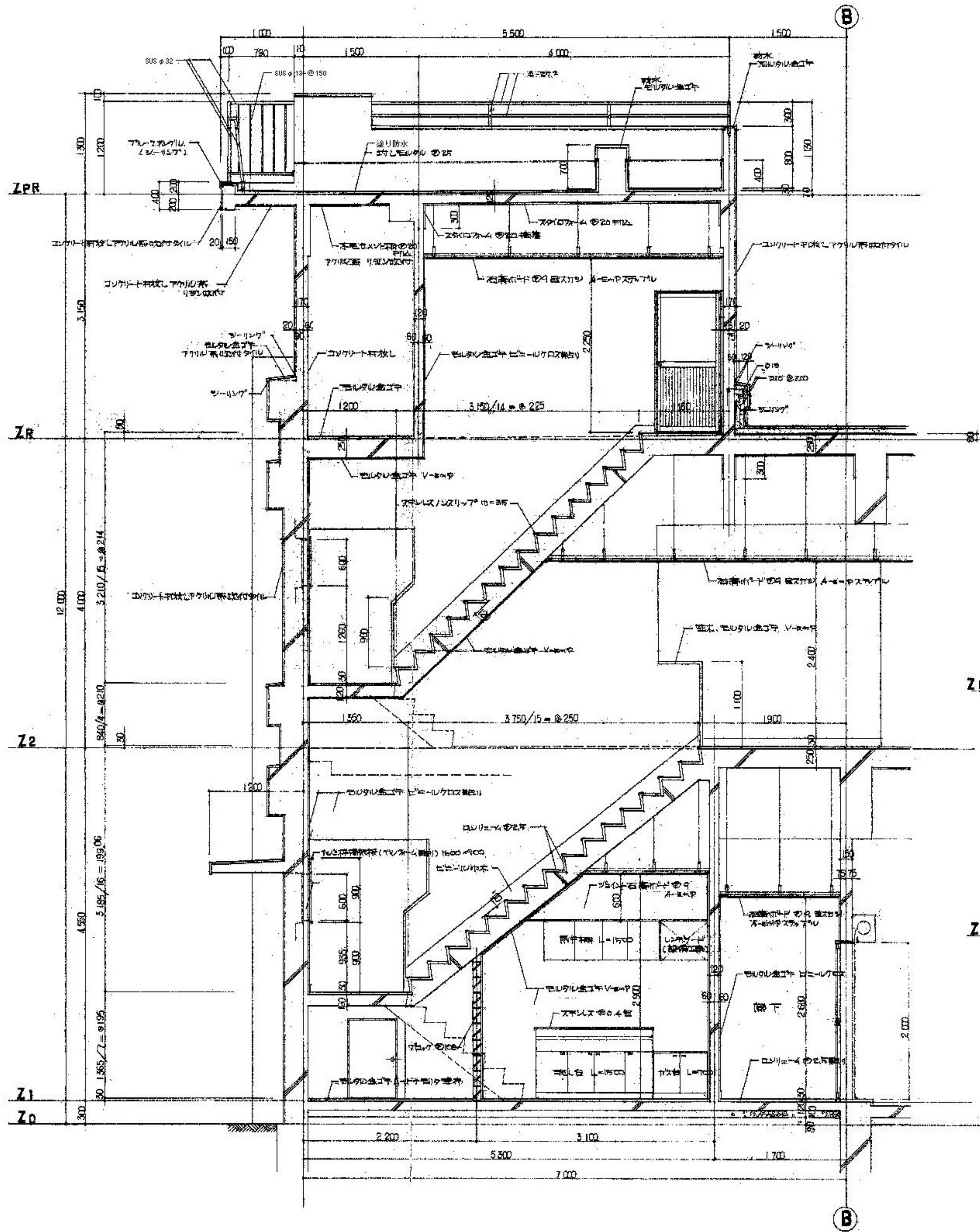


庁舎棟(本体) 断面図2 S=1/100

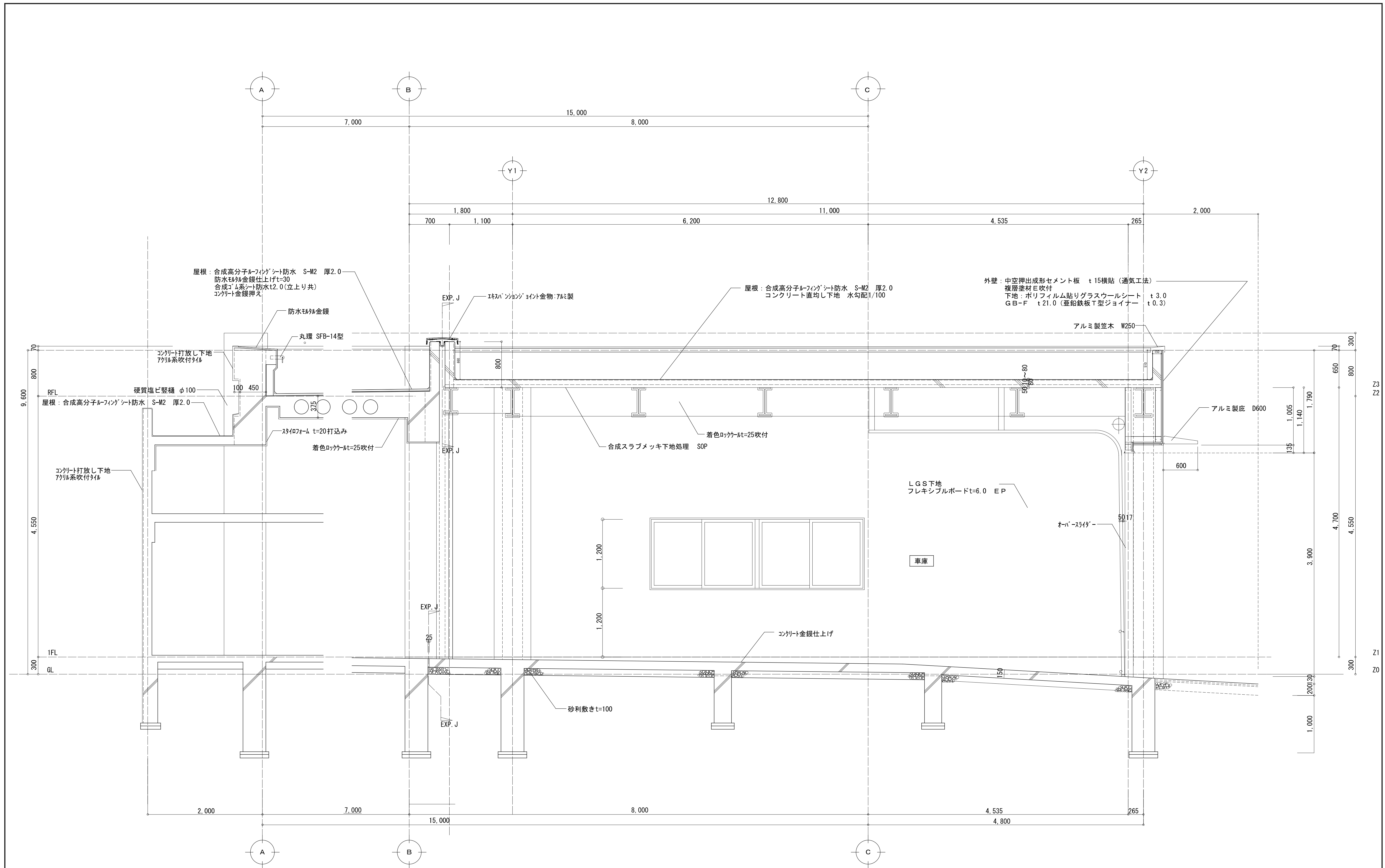
設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事	図面名称 庁舎棟(本体) 断面図	縮尺 1/100	A-10
新発田地域広域事務組合				



設計者等	工事名称		A-11
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	新発田地域消防本部解体工事	縮尺	
	庁舎棟(本体) 矩計図 1 1/30		
新発田地域広域事務組合			



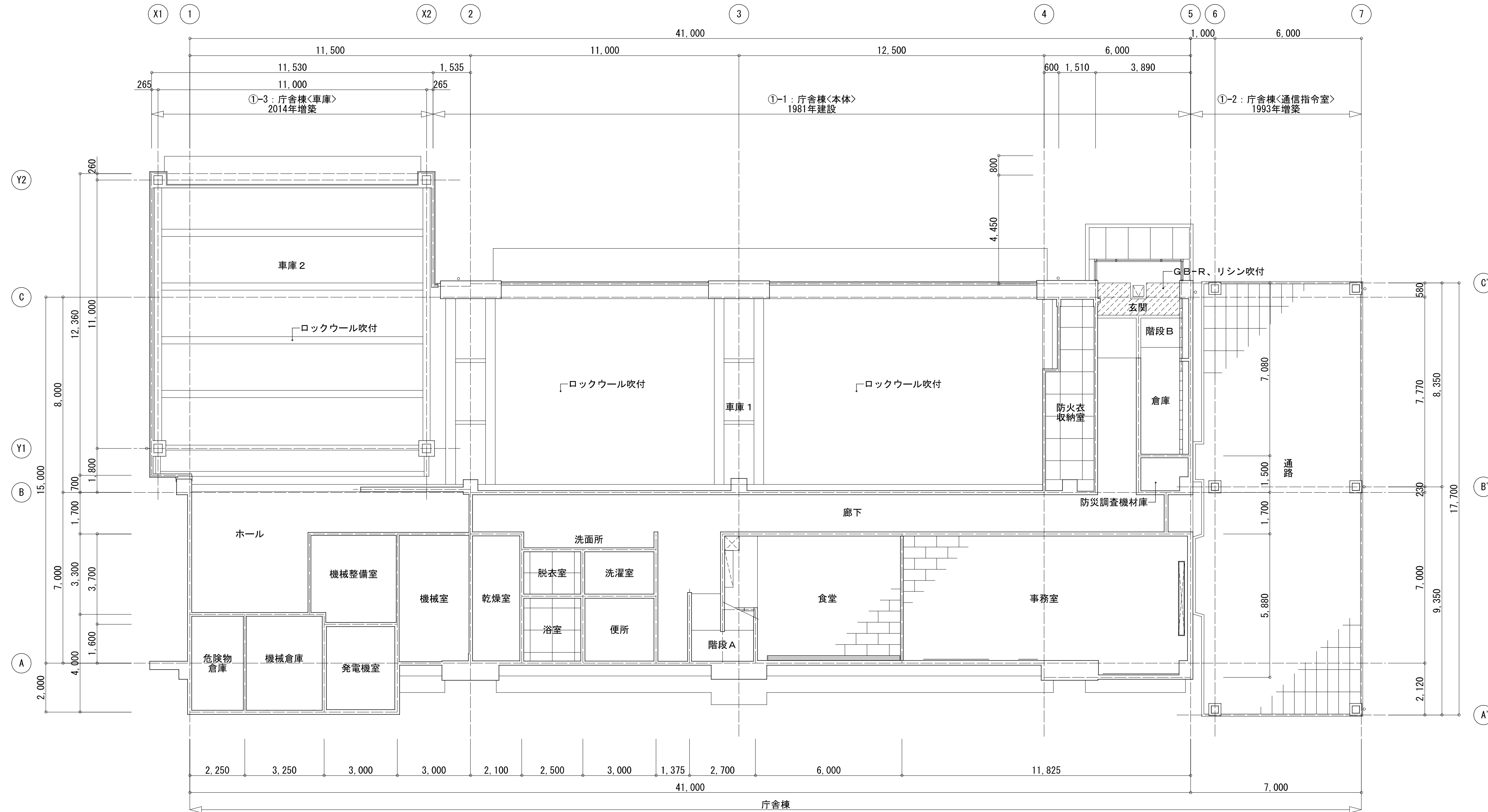
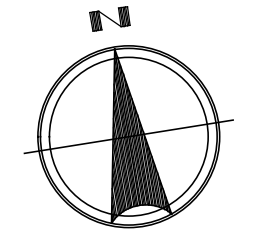
設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号 (ニ) 第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事 図面名称 庁舎棟(本体) 矩計図3 新発田地域広域事務組合	縮尺 1/30	A-13
--	--	------------	------



設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事	縮尺 1/30	A-15
図面名称 庁舎棟(車庫) 矩計図	新発田広域事務組合		

■ 1 F天井仕上表

室名	下地	仕上	石綿区分	CH	室名	下地	仕上	石綿区分	CH	室名	下地	仕上	石綿区分	CH	図	内容
玄関	S	GB-R、リシン吹付 (一部：ビニルクロス)	L 3	2.600	便所	S	GB-R、EP	L 3	2.400	発電機室	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	4.120	[鋼製スクリーンBOX]	鋼製スクリーンBOX : W200XH150
廊下	S	GB-R、EP	L 3	2.600	防火衣収納室	S	石綿セメント板、EP	L 3	2.600	機械整備室	C	ロックウール t 25	-	4.120		
事務室	S	GB-D	L 3	2.900	防災機材庫	S	GB-R、EP	L 3	2.400	機械倉庫	-	コンクリート打放し	-	2.320	[木製カーテンBOX]	木製カーテンBOX : W150XH150
食堂	S	DR	L 3	2.900	ホール	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	(平均) 4.245	危険物倉庫	-	コンクリート打放し	-	2.320		
	M	SOP(階段上裏)	-		車庫 1	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	(平均) 4.245	階段 A・B 下倉庫	-	コンクリート打放し	-	-	[カーテン]	
洗濯室	S	GB-R、EP	L 3	2.600	車庫 2	-	QLデッキ表し 鉄骨梁：ロックウール t 25	-	(平均) 4.895	軒天	C	アクリル系リシン吹付	-	-		[ブラインド]
脱衣室	S	石綿セメント板、EP	L 3	2.500	乾燥室	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	4.120	軒天(ポーチ)	S	石綿セメント平板 アクリル系リシン吹付	L 3	-		
浴室	S	石綿セメント平板、EP	L 3	(平均) 2.350	機械室	C	ロックウール t 25(梁型除く)	-	4.120	通路	S	ケイカル板、EP	L 3	GL +4.115		

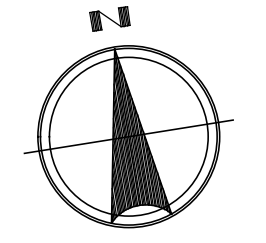


庁舎棟 1階天井伏図 S=1/100

設計者等	工事名称		A-16
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新潟市三日月213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	新発田広域消防本部解体工事	縮尺	
	図面名称	1/100	
		新発田地域広域事務組合	

■ 2F・PHF天井仕上表

室名	下地	仕上	石綿区分	CH	室名	下地	仕上	石綿区分	CH	室名	下地	仕上	石綿区分	CH	図	内容
会議室	S	DR	L3	2.750	書庫1	S	GB-D	L3	2.400	通信室	S	DR	-	2.750	—	木製カーテンBOX : W150XH150
消防長室	S	DR	L3	2.600	書庫2	S	GB-D	L3	2.500	通信機械室	S	DR	-	2.750		カーテン
事務室	S	GB-D	L3	2.700	書庫3	S	GB-D	L3	2.400	仮眠室3	S	DR	-	2.400		ブラインド
収納	S	GB-D	L3	2.400	男子便所 女子便所	S	GB-D	L3	2.400	ロッカー室	S	GB-R(吸音有孔板)	-	2.950		
倉庫	S	GB-D	L3	2.400	湯沸室	S	GB-R、EP	L3	2.400	書庫4	S	DR	-	2.400		
仮眠室1	S	GB-D	L3	2.700	廊下1・2	S	GB-R、EP	L3	2.400	書庫5	C	NW、リシン吹付	L3	2.980		
仮眠室2	S	GB-D	L3	2.700	ホール	S	GB-D	-	2.400	階段A	S	GB-R、EP	L3	2FL +2.400		
休憩室	S	有孔パルプセメント板	L3	2.500	通信指令室	S	DR	-	2.750	階段B	S	GB-R、EP	L3	PHFL +2.250		



庁舎棟 PH階天井伏図 S=1/100

庁舎棟 2階天井伏図 S=1/100

設計者等	工事名称	新発田広域消防本部解体工事	A-17
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	図面名称	庁舎棟 2F・PHF天井伏図	
	縮尺	1/100	
		新発田地域広域事務組合	

記号・数量	101 AS	102 AS	103 AS
姿 図			
名 称	手動チェーン式 オーバースライディングドア (スタンダード型)	手動チェーン式 オーバースライディングドア (ローヘッド型)	手動チェーン式 オーバースライディングドア (ローヘッド型) 移動中柱付
材料・仕上	パネル: アルミニウム合金塗装板	パネル: アルミニウム合金塗装板	パネル: アルミニウム合金塗装板
見 込			
附属金物	標準付属金物一式、外部3方枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板	標準付属金物一式、外部3方枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板	標準付属金物一式、外部3方枠: 溶融亜鉛メッキ鋼板

記号・数量	101 AD	102 SD	103 AD	101 AW	102 AW	AW 9	201 AW
姿 図							
名 称	嵌殺し欄間付両開き戸	親子開き戸	片開き戸	引違い窓	引違い窓	引違い窓	縦滑り出し窓
材料・仕上	アルミ押出型材	スチール製、ガラス	アルミ押出型材、ガラス	アルミ押出型材、ガラス	アルミ押出型材、ガラス	アルミ押出型材、ガラス	アルミ押出型材、ガラス
見 込	見込:70	見込:100	見込:70	見込:70	見込:70	見込:70	見込:70
附属金物	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式

記号・数量	103 AW	104 AW	101 LD	101 SD	AD 6	SG 1	SG 2
姿 図							
名 称	嵌め殺し窓	引違い窓	軽量鋼製引違戸	スチール製 片開きフラッシュ戸	片開き戸	スチールガラリ	スチールガラリ
材料・仕上	アルミ押出型材	アルミ押出型材	電気亜鉛めっき鋼板厚、ガラス	1.5mm鋼板厚、ガラス 機械倉庫 危険物倉庫	スチール製、ガラス	スチール製	スチール製
見 込	見込:70	見込:70	見込:210	見込:100	見込:100	見込:80	見込:80
附属金物	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式

■その他建具リスト

区分	建具符号	型式	W	H	建具符号	型式	W	H	区分	建具符号	型式	W	H	建具符号	型式	W	H
金属製建具	AW-1	上下窓(4連)	3,720	1,800	AW-14'	引違い窓	1,500	650	木製建具	WD-1	両開きドア	1,700	2,000	WD-12	両開きドア	1,500	1,100
	AW-2	上下窓(7連)	6,400	1,800	AW-15	引違い窓	1,400	600		WD-2	親子開きドア	1,200	2,000	WW-1	三方枠	800	2,000
	AW-3	上下窓(4連)	3,725	1,800	AW-16	引違い窓	1,200	650		WD-2'	親子開きドア	1,200	2,000	CWW-1	三方枠	800	2,000
	AW-4	上下窓(4連)	3,730	1,800	AW-19	F i x 窓	600	600		WD-3	片開きドア	800	2,000				
	AW-6	引違い窓	1,200	650	CAG-1	ガラリ	1,850	450		WD-3'	片開きドア	800	2,000				
	AW-7	4本引き窓	2,650	1,500	CAG-2	ガラリ	900	450		WD-4	両開きドア	1,500	2,000				
	AW-8	引違い窓(4連)	7,410	1,500	SD-1		750	700		WD-5'	片開きドア	800	2,000				
	AW-10	引違い窓(2連)	3,670	1,500	SW-1	三方枠	1,600	2,000		WD-5	片開きドア	800	1,800				
	AW-11	引違い窓(2連)	3,230	1,500						WD-6'	両開きドア	1,500	2,000				
	AW-12	引違い窓	1,800	1,500						WD-6	片開きドア	800	1,800				
	AW-13	引違い窓	1,700	700						WD-7	片開きドア	600	1,800				
	AW-14	引違い窓	1,500	650						WD-8	片開きドア	600	600				

設計者等	工事名称		A-18
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	新発田広域消防本部解体工事	縮尺	
	図面名称 庁舎棟 建具表 1	1/50	
新発田地域広域事務組合			

図面番号	AS-1	AS-2	AS-3	SS-1
断面				
種別形式	重量扉ハーフオーダー (スタンダード型、ガラス式)	全扉 (スタンダード型、ガラス式)	全扉 (ロール型、ガラス式、自動閉鎖付)	甲種防火戸スチールシッター
仕上	電着塗装	全扉	全扉	エコーP
硝子		全扉	全扉	フロート #16
金物	常設金物一式	全扉	全扉	標準金物一式
他	アクリル板の取付位置、アクリル板の取付位置	全扉	全扉	ヒューズ付 内部色付

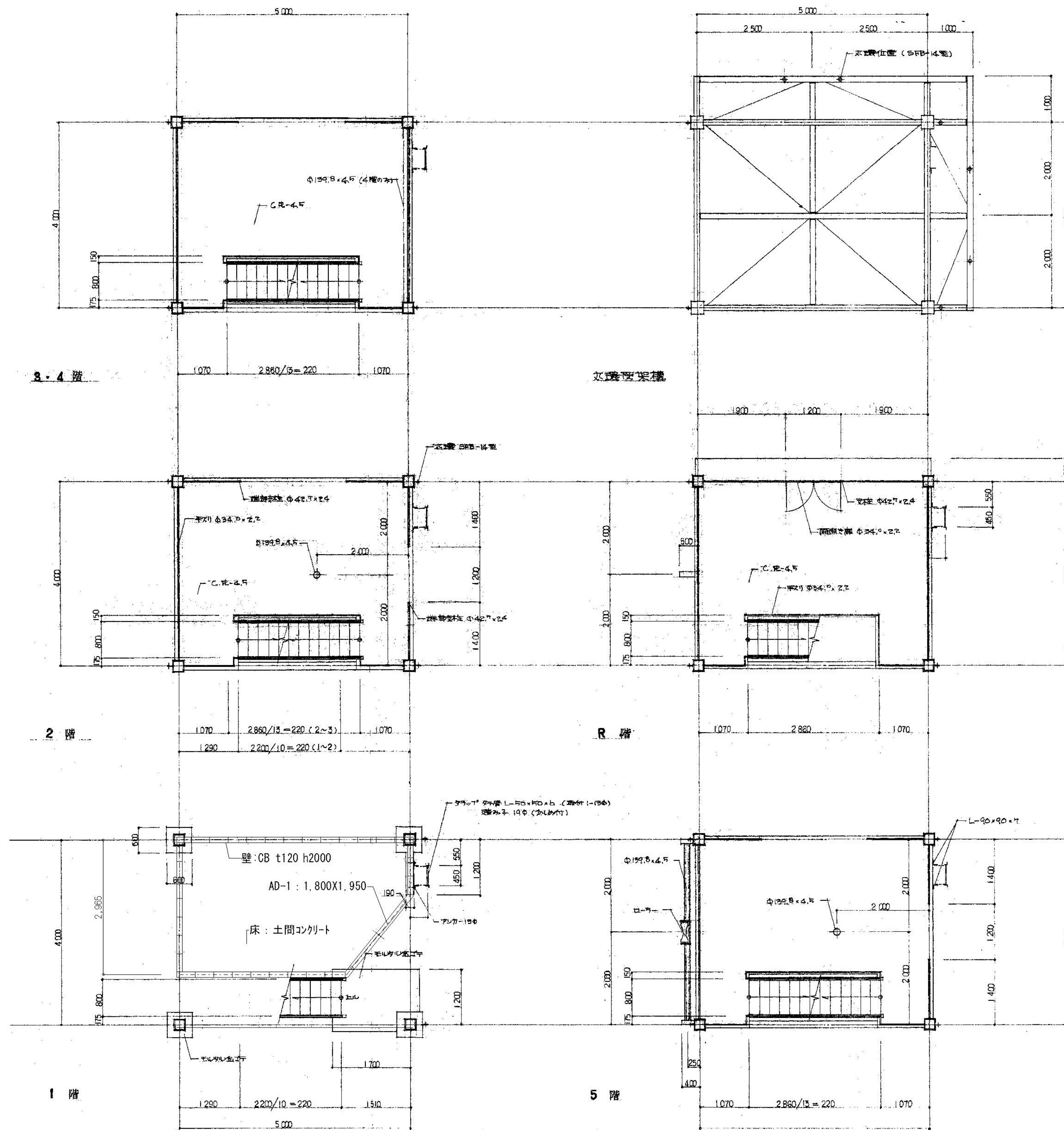
図面番号	AD-1	AD-2	AD-3	AD-4	AD-5	AD-6	AD-7	AD-8
断面								
種別形式	FIX 両開き付、FIX 両開き	スチール両開き付、スチール	FIX 両開き付	全扉	FIX 両開き付	全扉	全扉	全扉
仕上	シリバー	SO.P.付	シリバー	全扉	全扉	全扉	全扉	全扉
硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子
金物	丁番、モロコ、D.C.	カーテンレール付、モロコ、D.C.	透明硝子、標準金物	標準金物	標準金物	標準金物	標準金物	標準金物
他	アクリル板	甲種防火戸		アクリル板				

図面番号	AD-9	AD-10	AD-11	AD-12	AD-13	AD-14	AD-15
断面							
種別形式	FIX 両開き付	全扉	FIX 両開き付、別置付	FIX 別置付	全扉	FIX 別置付	FIX 別置付
仕上	シリバー	全扉	全扉	全扉	全扉	全扉	全扉
硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子
金物	丁番、モロコ、D.C.	丁番、モロコ、D.C.	透明硝子、標準金物一式、アクリル板、アクリル板、アクリル板、アクリル板	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
他	アクリル板	全扉	非常用脱出装置、ガラス式、ガラス式				

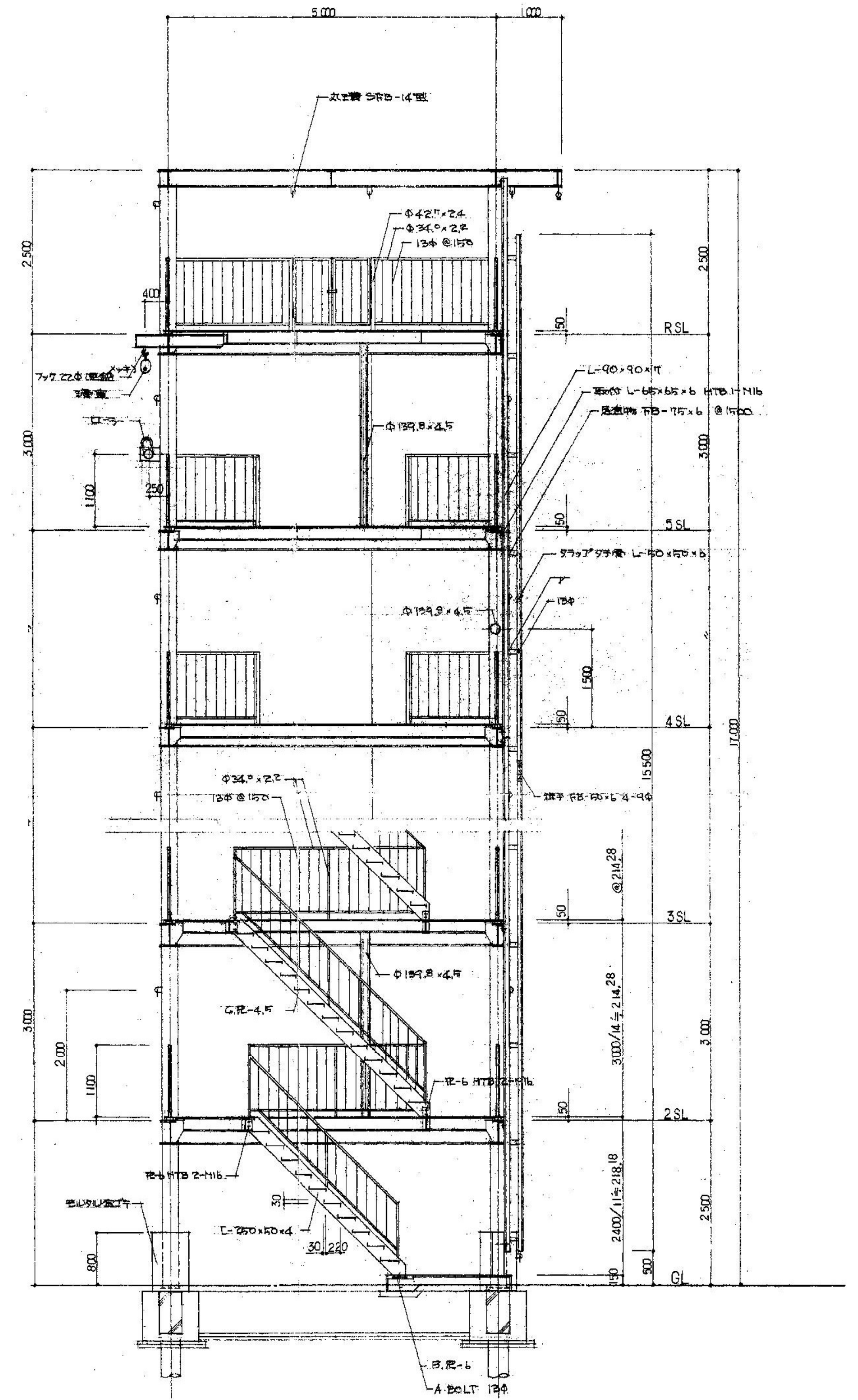
図面番号	SD-1	SD-2	AG-1	AG-2
断面				
種別形式	スチール両開き付	スチール両開き付、ガラス付	アクリル両開き付	全扉
仕上	電着塗装	全扉	シリバー	全扉
硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子	透明硝子
金物	丁番、モロコ	丁番、モロコ	モロコ	全扉
他				

設計者等	あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新潟市三日月213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号 (ニ) 第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称	新発田広域消防本部解体工事
図面名称	庁舎棟 建具表 2	縮尺	1/50
新発田地域広域事務組合			

記号	CAD 1		CAD 2		
形状寸法					
名称	ワンテ 樹脂窓窓枠付 樹脂窓		アルミフラッシュ窓枠付 (樹脂)		
ガラス	樹脂窓付アルミ樹脂窓付樹脂窓付アルミ樹脂窓付樹脂窓付		4mm樹脂		
金物	樹脂窓付樹脂窓付樹脂窓付樹脂窓付		樹脂窓付樹脂窓付樹脂窓付		
備考					
記号	CAD 1	CAD 2	CAD 3	CAD 4	CAD 5
形状寸法					
名称	樹脂付アルミ窓	樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付
ガラス	4mm樹脂	6.8mm樹脂付樹脂付	2mm樹脂付樹脂付樹脂付	4mm樹脂	10mm (5+6+5) 樹脂付樹脂付
金物	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付
備考					
記号	CAD 1	CAD 2	CAD 3		
形状寸法					
名称	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付		
ガラス	3mm樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	3mm樹脂付	4mm樹脂付		
金物	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付		
備考					
記号	CAD 10				
形状寸法					
名称	樹脂付樹脂付		樹脂付樹脂付		
ガラス	樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付樹脂付		(FIX) 5mm樹脂付		
備考					

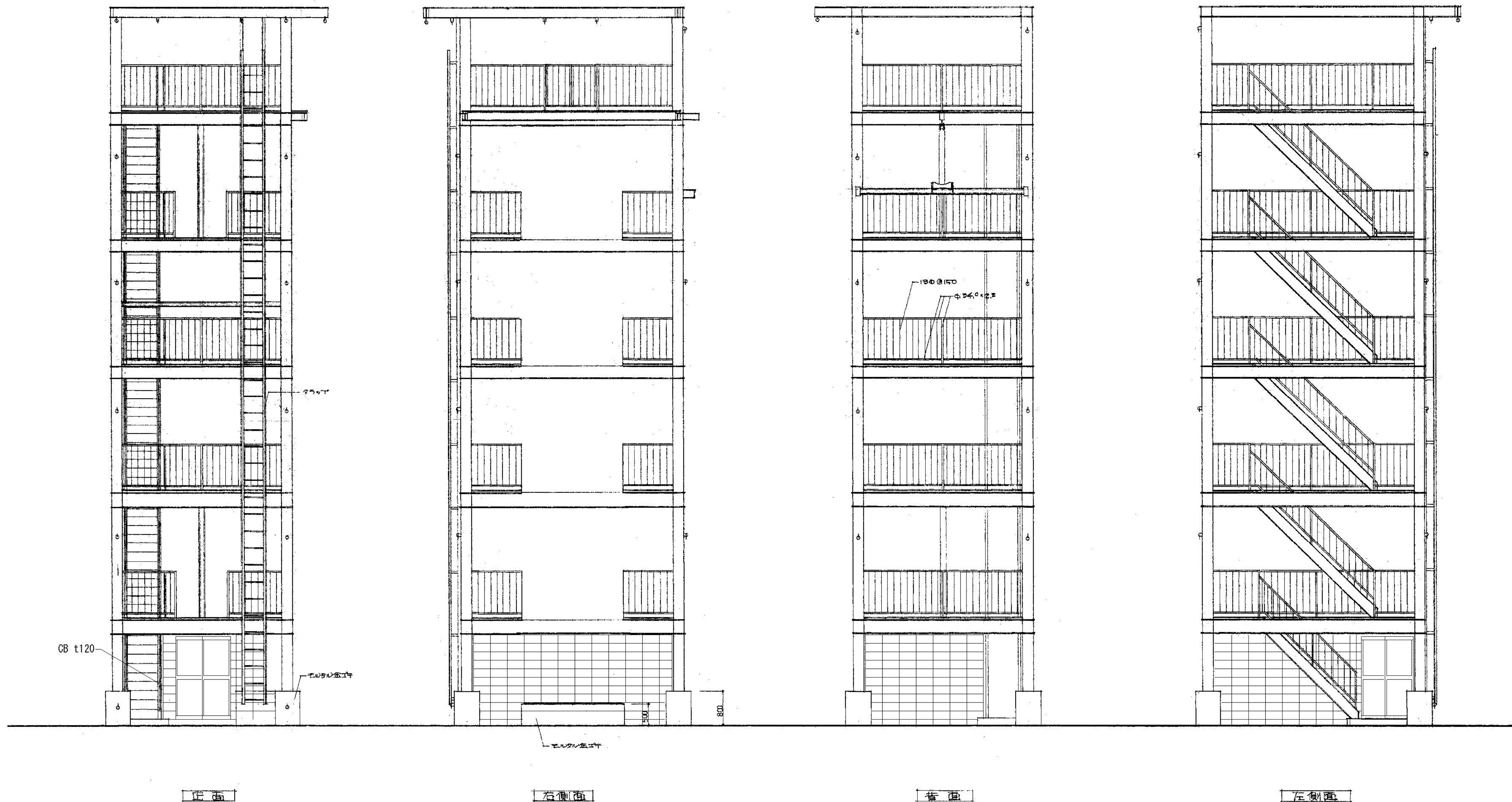


[訓練塔]平面詳細図 S=1/50



[訓練塔]断面詳細図 S=1/50

設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号 (ニ) 第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事	図面名称 訓練塔 平面図・断面図	縮尺 1/50	A-21
新発田地域広域事務組合				



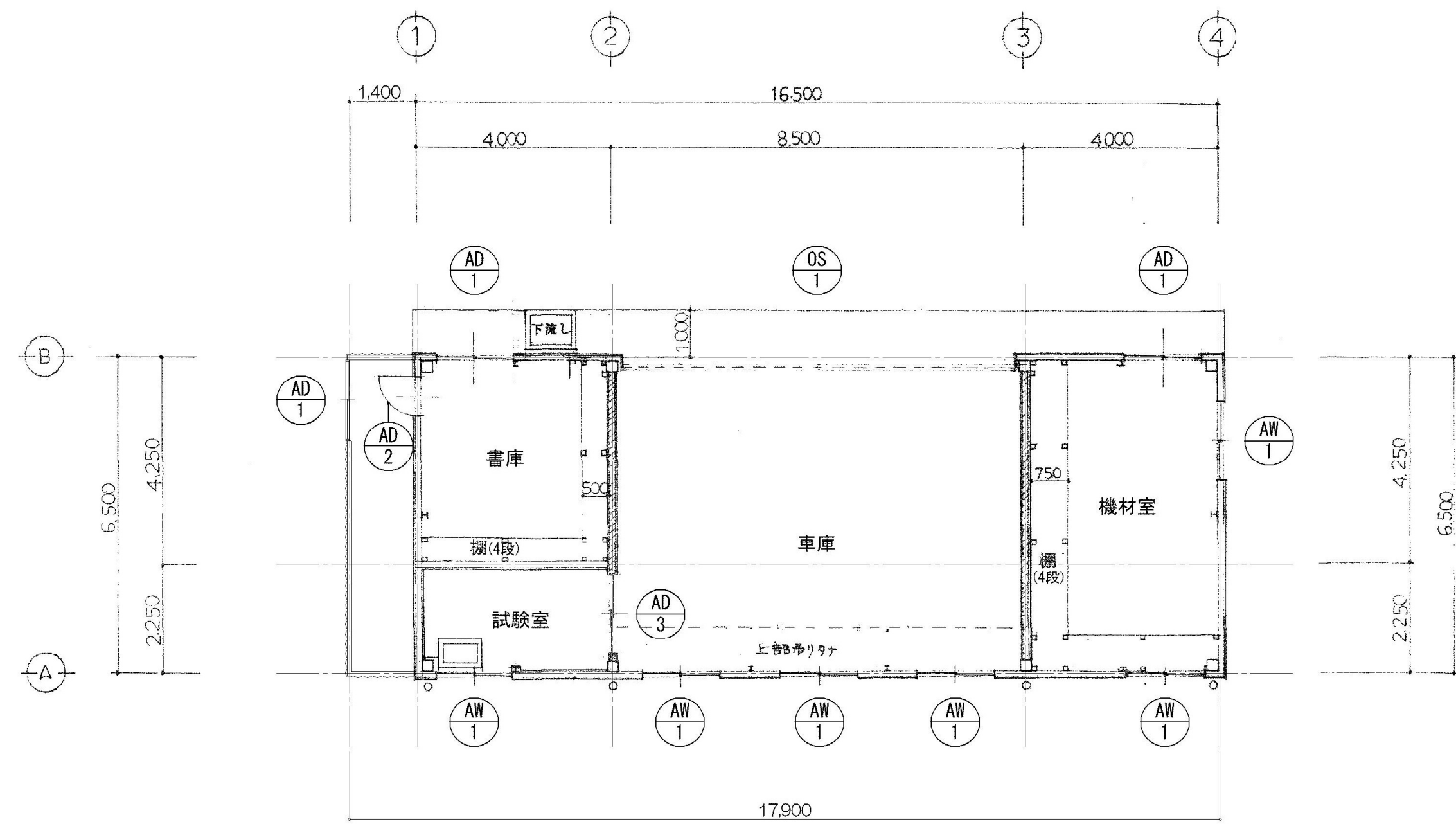
正面

右側面

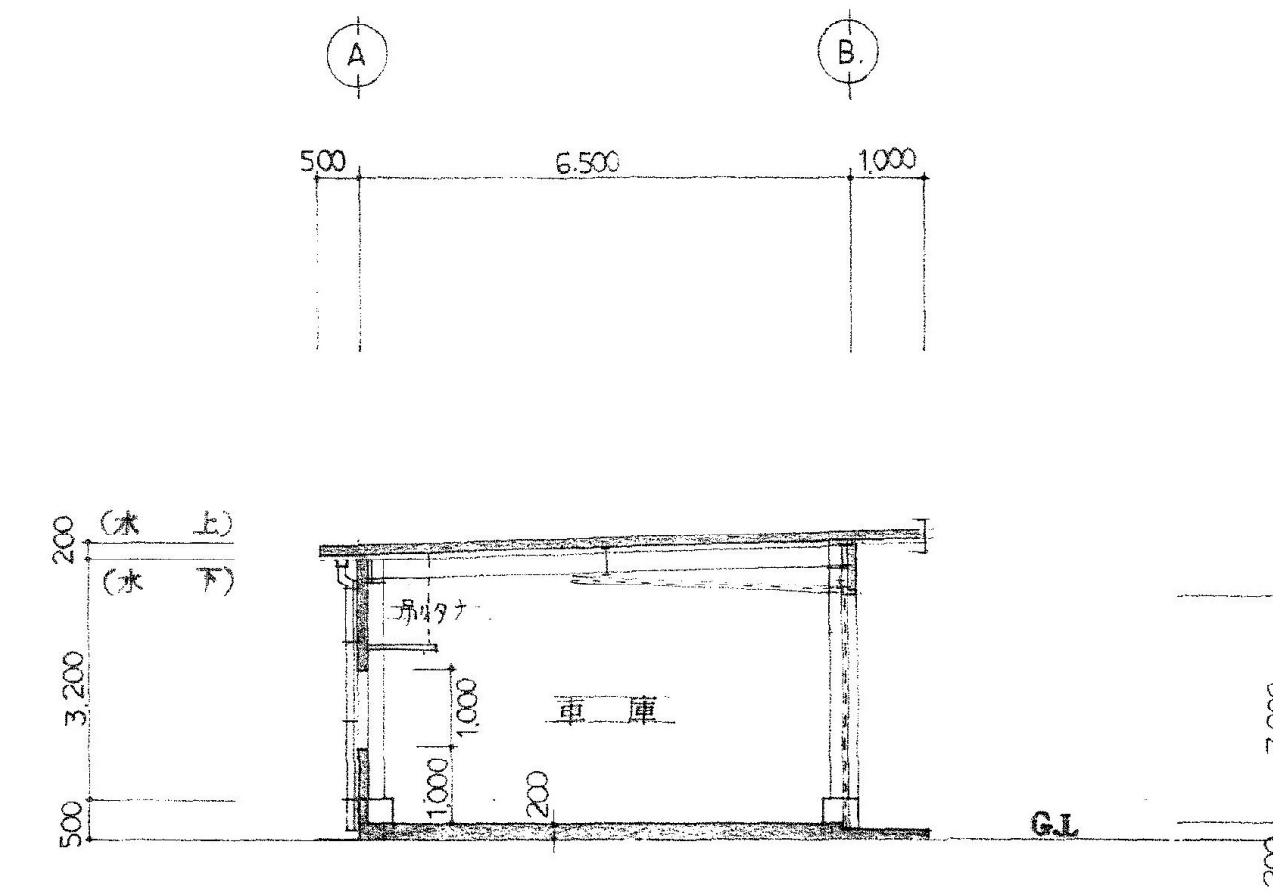
背面

左側面

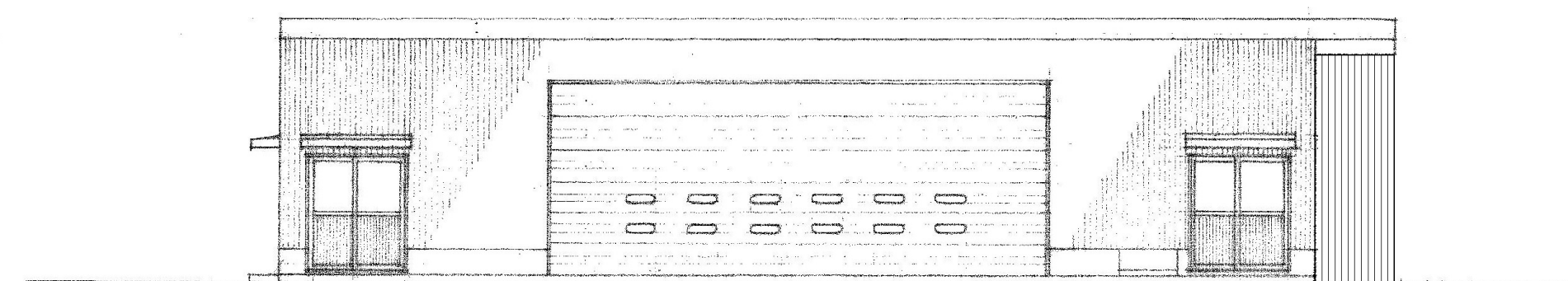
設計者等	工事名称 新発田広域消防本部解体工事		縮尺 1/50	A-22
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	図面名称 [訓練塔]立面図			
新発田地域広域事務組合				



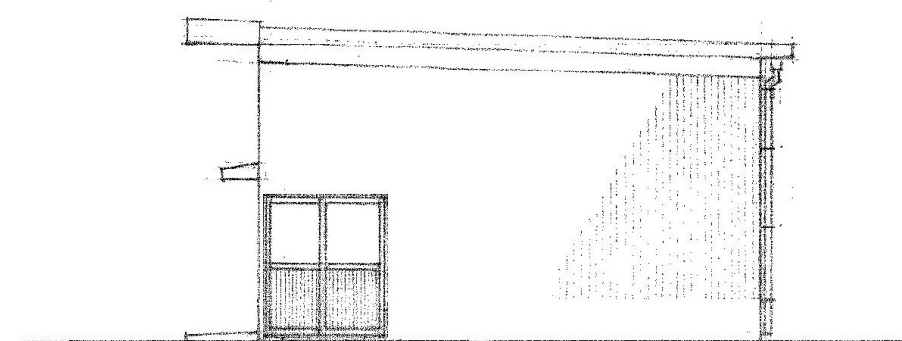
平面図 S=1/100



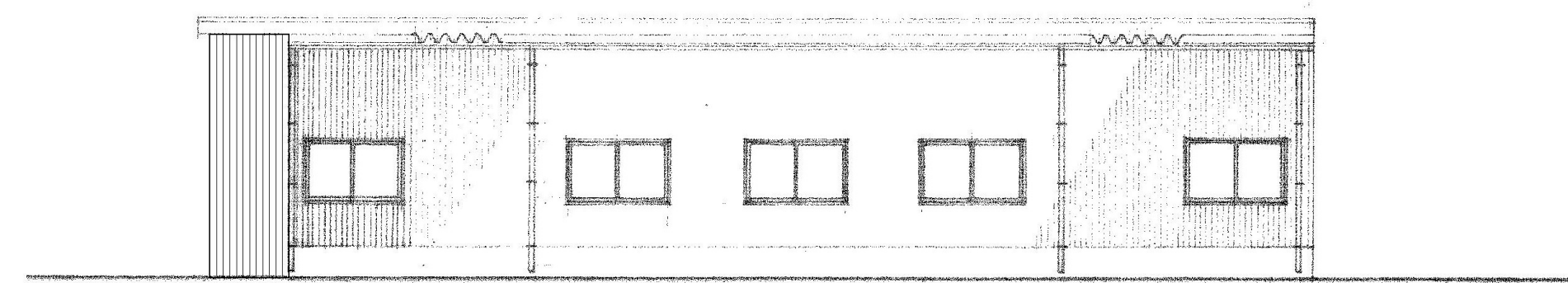
断面図 S=1/100



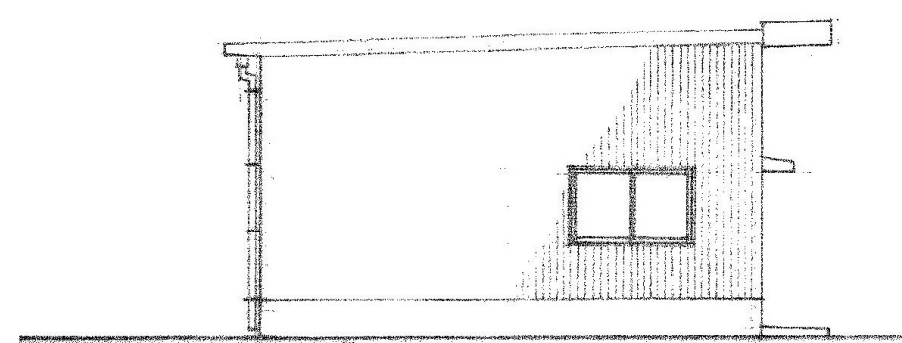
東側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



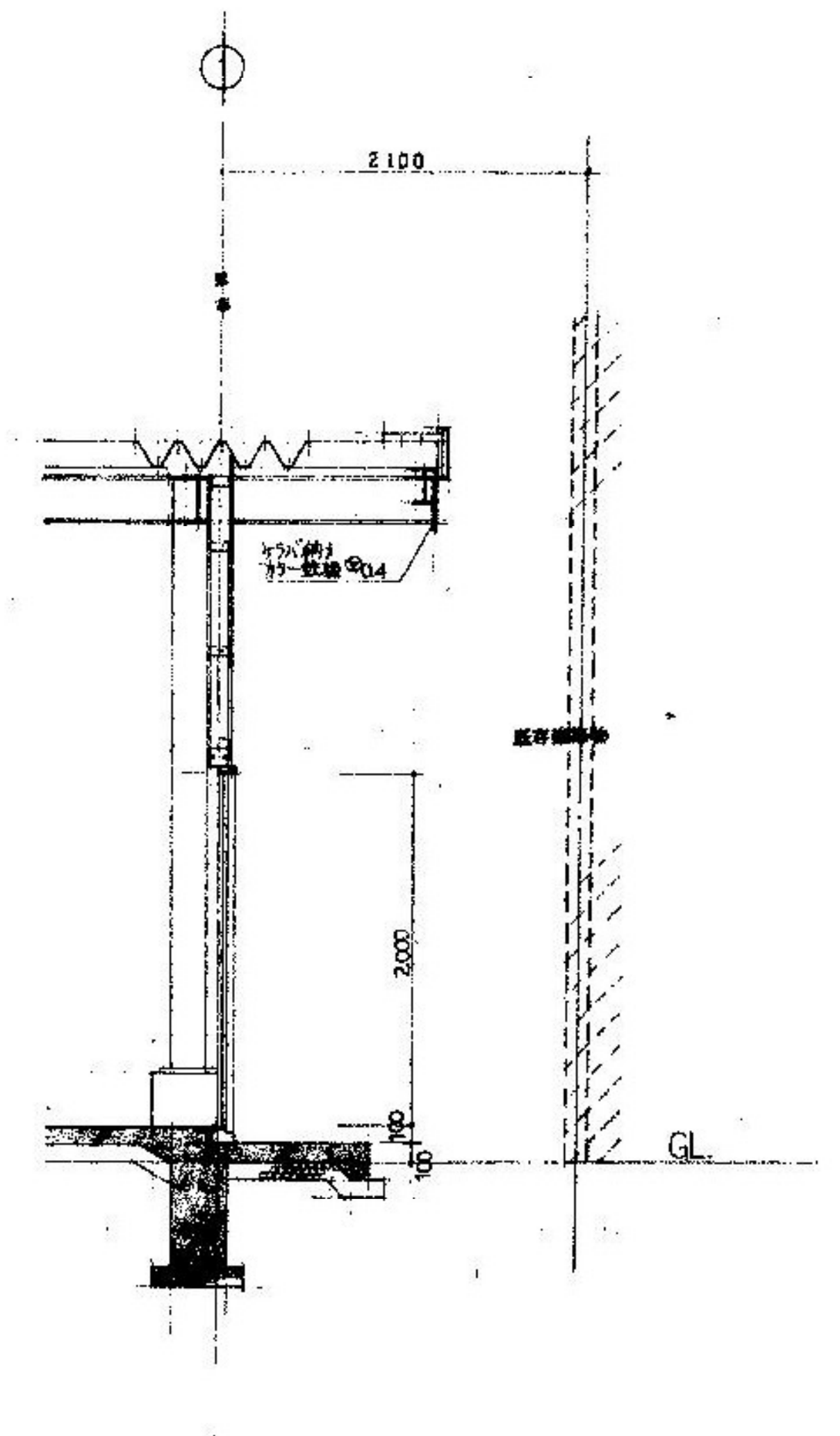
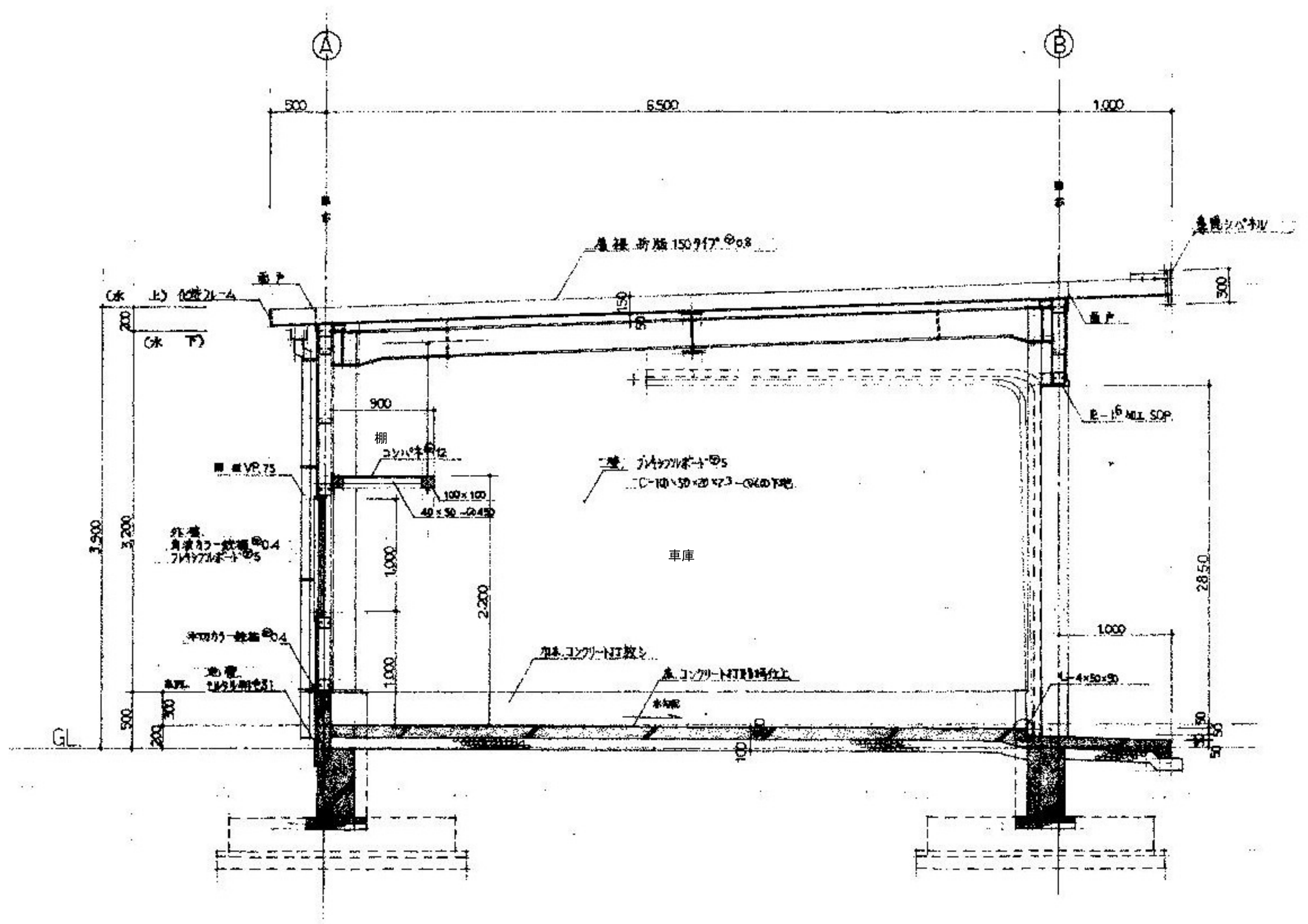
西側立面図 S=1/100



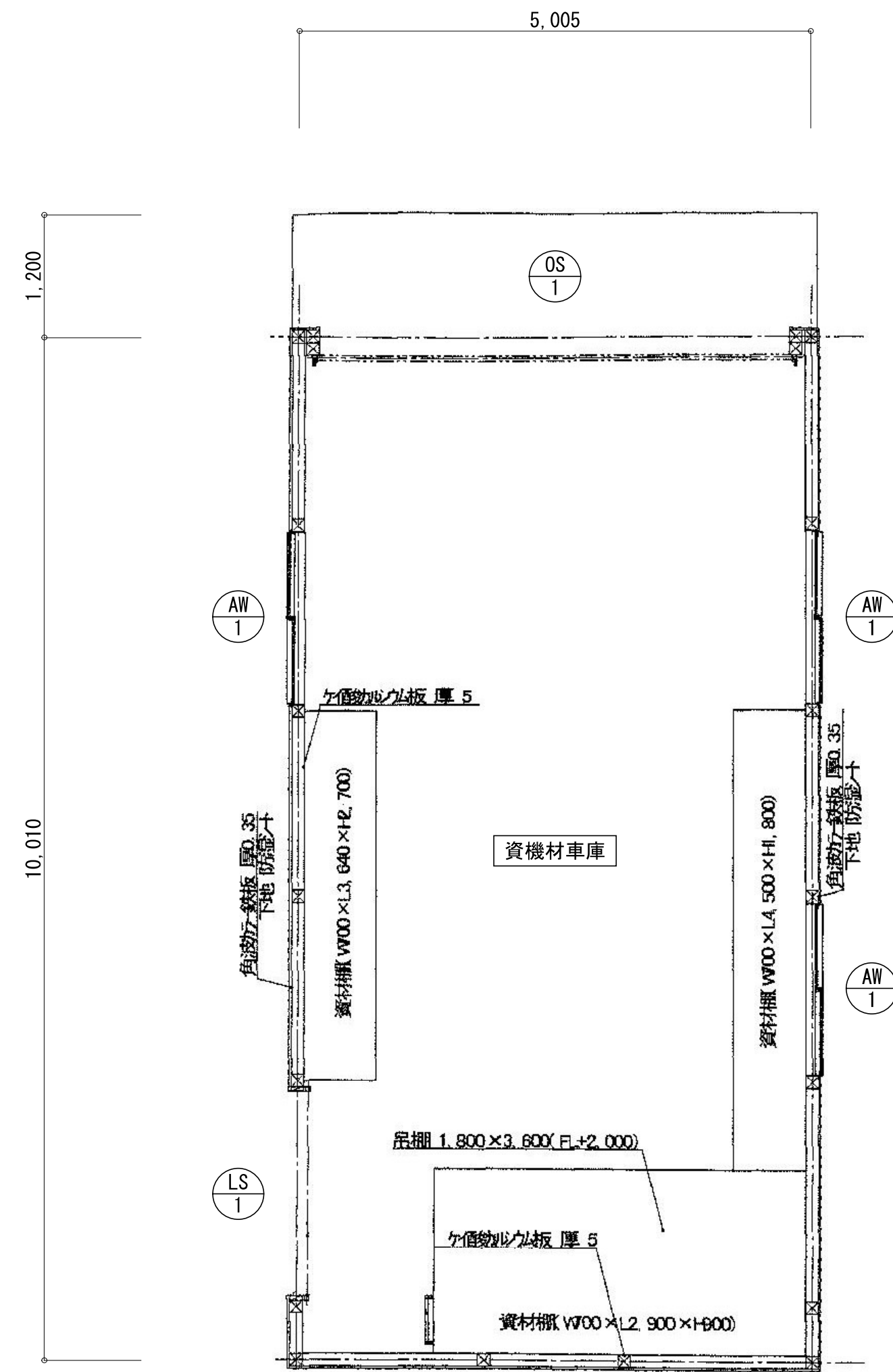
南側立面図 S=1/100

■建具表		S=1/50	
符号	OS 1	アルミ製 オーバーライダー	1ヶ所
形状寸法			AW 1
取付場所	車庫		アルミ引違い窓(鉄骨用) 6ヶ所
材質仕上	アルミ(カラー)		アルミ(シルバー)
硝子	透明		ミカキアクリル硝子@6.8%
附属金物			
符号	AD 1	アルミ引違い窓(鉄骨用)	2ヶ所
形状寸法			AD 2
取付場所	機材室 書庫		アルミ片開戸(鉄骨用) 1ヶ所
材質仕上	アルミ(シルバー)		アルミ引違い窓(室内用) 1ヶ所
硝子	ラウファイバー硝子@6.8%		全左
附属金物			全左
符号	AD 3	アルミ片開戸(鉄骨用)	1ヶ所
形状寸法			
取付場所	機材室		
材質仕上	全左		
硝子	全左		
附属金物			

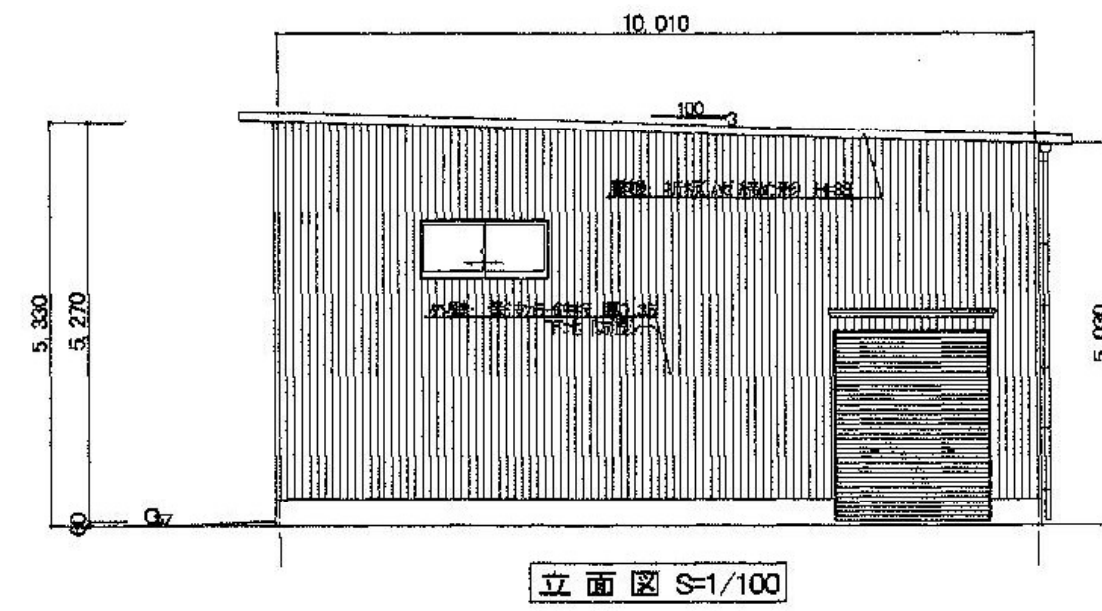
設計者等	工事名称	新発田広域消防本部解体工事
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	図面名称	車庫棟 平面図、断面図 立面図、建具表
	縮尺	1/50・100
		新発田広域消防本部事務組合



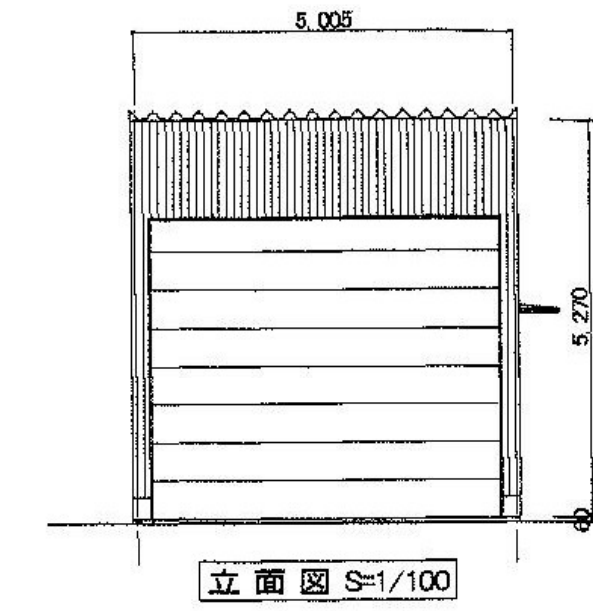
設計者等	工事名称		A-24
あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	新発田広域消防本部解体工事	縮尺	
	車庫棟 矩計図	1/30	
新発田地域広域事務組合			



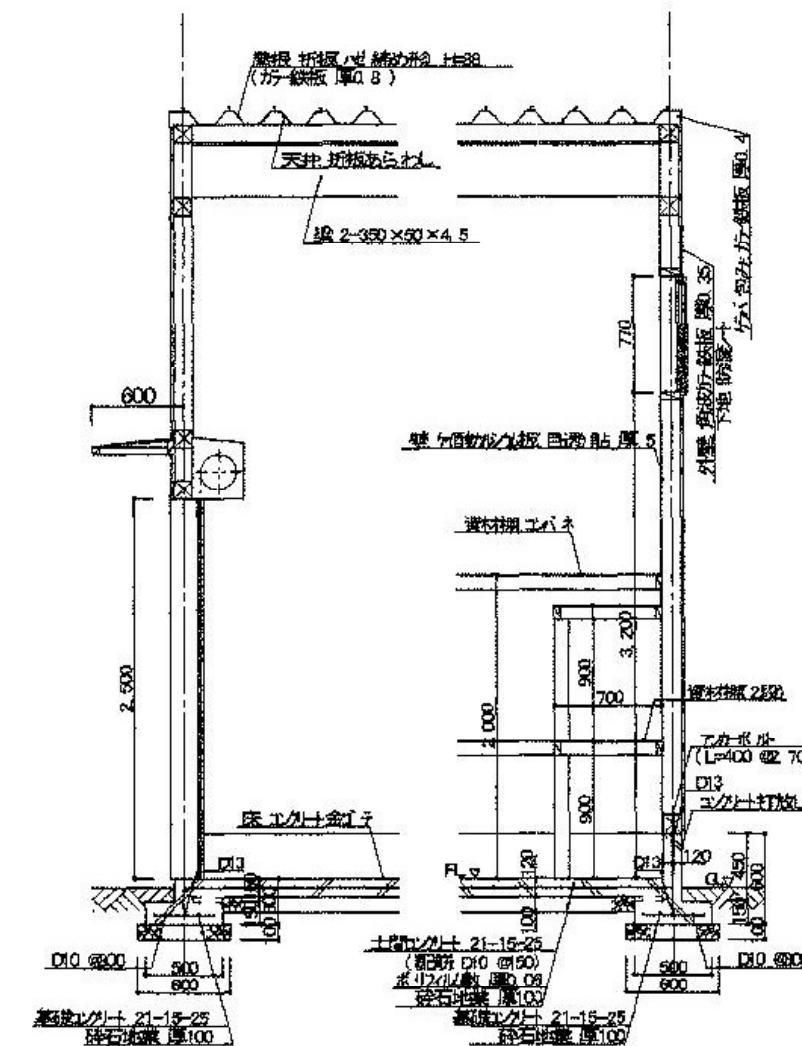
平面図 S=1/50



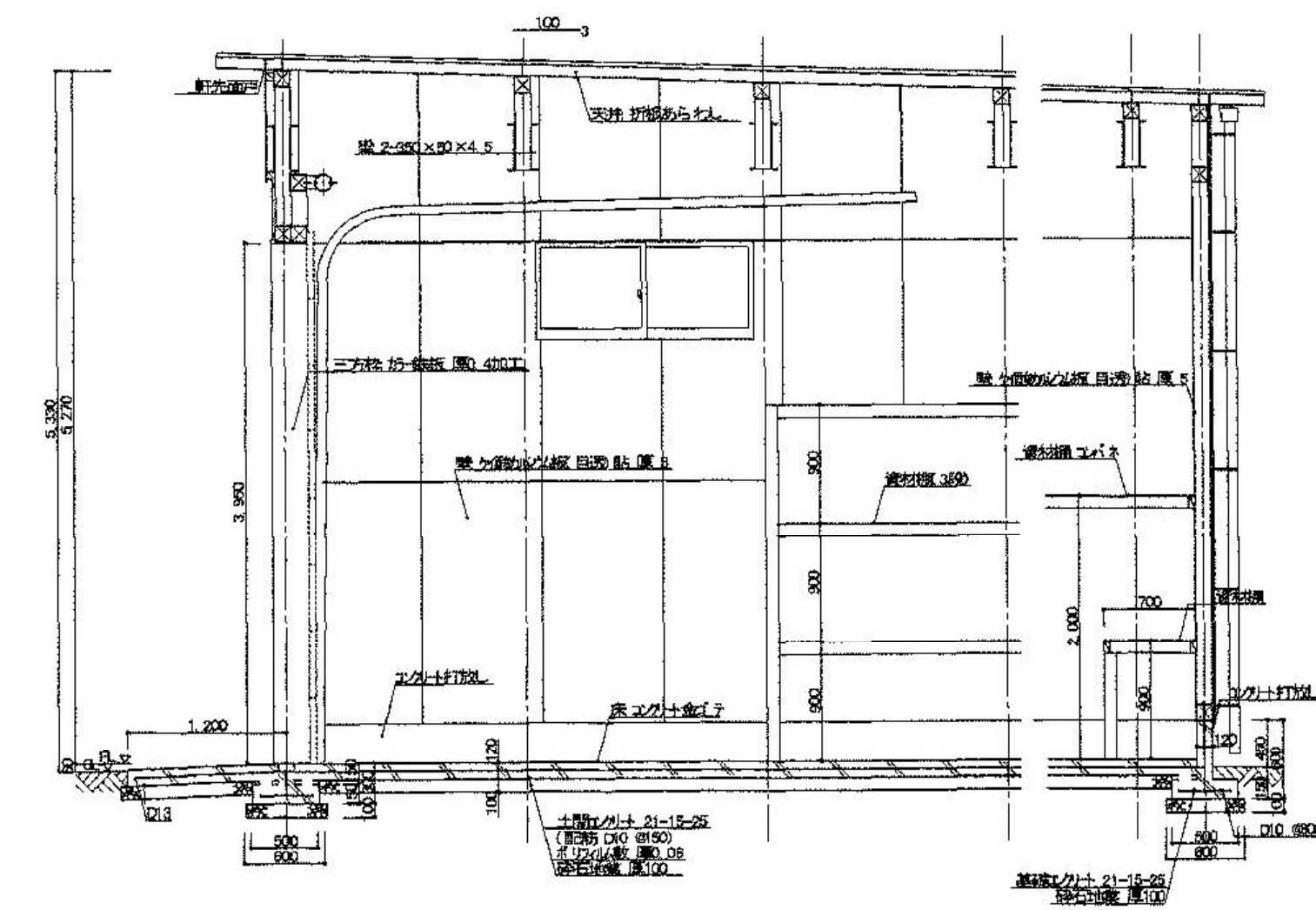
立面図 S=1/100



立面図 S=1/100



矩計図 1 S=1/50



矩計図 2 S=1/50

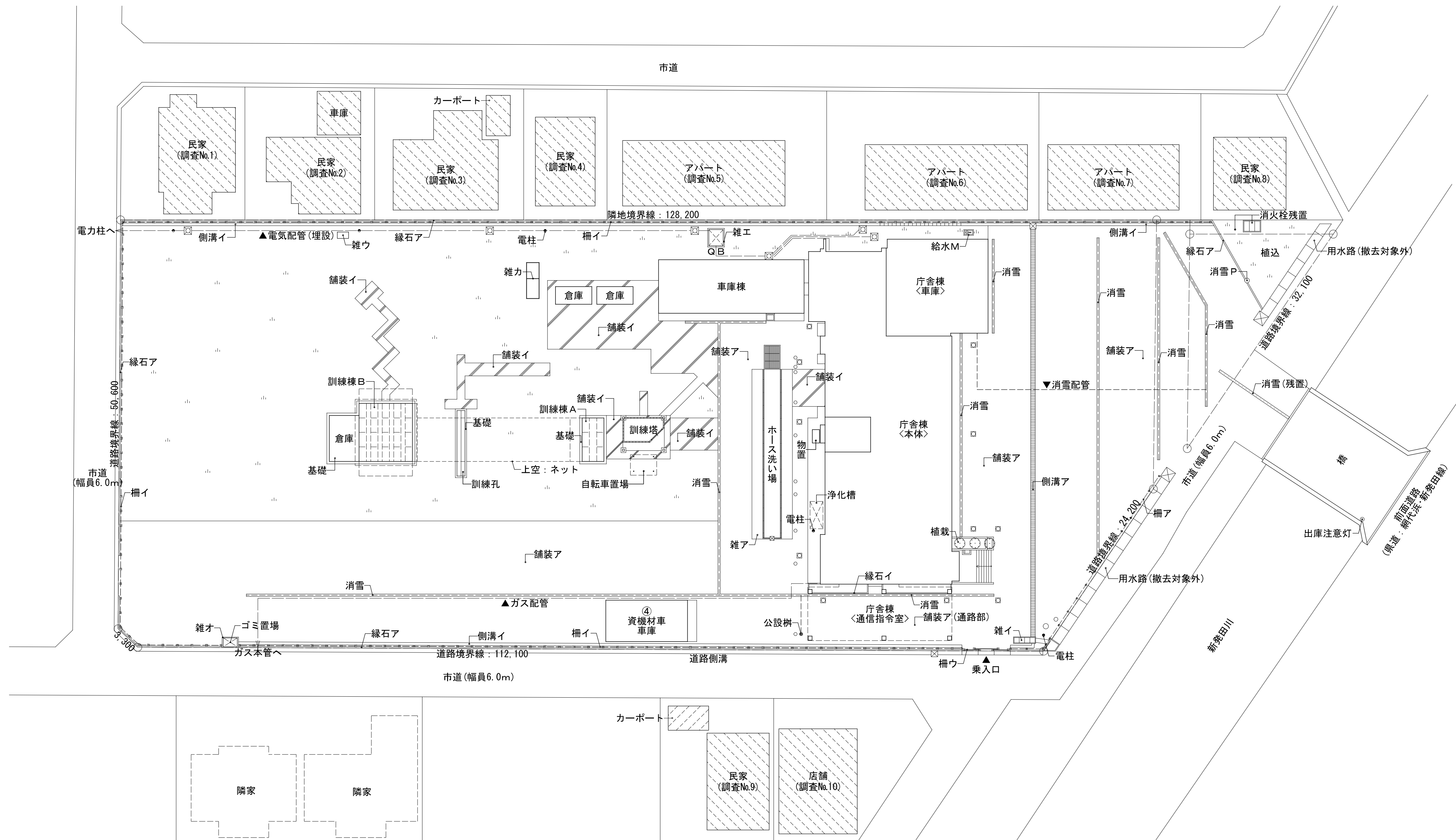
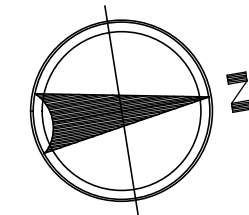
■ 建具リスト

符号	型式	数量	形状		備考
			W	H	
OS 1	アルミオーバースライダー	1	4,590	3,950	
LS 1	アルミシャッター	1	2,000	2,500	
AW 1	引違い窓	3	1,690	770	ガラス：F4

設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号 (ニ) 第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事 資機材車庫棟 平面図・立面図・断面図 新発田地域広域事務組合	縮尺 1/100	A-25
--	---	-------------	------

■撤去内容一覧 ※特記なき舗装下・基礎下等の砂利敷きは残置とする。

符号	内容	工事内容	符号	内容	工事内容	符号	内容	工事内容
舗装ア	アスファルト舗装 t 50	一式撤去	側溝ア	横断側溝300(鋼製グレーチング蓋)	一式撤去	浄化槽	F R P製浄化槽(分離接触ばっ気型40人槽・地下埋設) R C基礎:L4.500XW1.200XH100	浄化槽:洗浄・消毒の上、一式撤去
舗装イ	コンクリート舗装 t 150	一式撤去	側溝イ	U形側溝240(一部コンクリート蓋)	一式撤去	消雪	消雪パイプ基礎:W300XH300(散水管共)	一式撤去(市道部分は対象外)
基礎	棟No.⑧~⑩:RC基礎 t 150	一式撤去	緑石ア	歩車道境界ブロックA型	一式撤去	消雪P	消雪ポンプ	一式撤去(揚水配管は残置)
雑ア	ホース洗い場:L21.000XW5.000X t 150、水槽:L3.000XW2.000X深600 (鋼製グレーチング:W150、水槽部:スチール格子:L2.800XW1.800)	一式撤去	緑石イ	地先境界ブロックA型	一式撤去	☒	コンクリート樹:750X750(ホース洗い場は500X500)	一式撤去
雑イ	オイルトラップ:L2.750XW810(綯鋼板:660X650X4枚)	一式撤去	柵ア	アルミメッシュフェンス:H1.200(基礎ブロック:180X180XH450)	一式撤去	☒	ハンドホール:900X900、鋳鉄製マンホール蓋φ600	一式撤去
雑ウ	旗基礎:L1.400XW800XH1.000	一式撤去	柵イ	スチールメッシュフェンス:H1.200(基礎ブロック:250X250XH450)	一式撤去	○	コンクリート樹:600X600、鋳鉄製マンホール蓋φ500	一式撤去
雑エ	QB基礎:L2.300XW2.100XH500	一式撤去	柵ウ	アーチ車止め:L3.000XH650X1ヶ所、L2.000XH650X2ヶ所 (基礎ブロック:250X250XH600)	一式撤去	○	コンクリート樹:500X500、鋳鉄製マンホール蓋φ400	一式撤去
雑オ	ゴミ置場基礎:L2.050XW1.300XH150 (スチール製ゴミ置場:L1.750XW1.100XH1.800~2.100)	一式撤去	植栽	中木×3本	一式撤去	給水M	給水メーター	残置の上、散水栓(埋設型)新設
雑カ	PC板:L4.500XW1.600XH500X t 50	一式撤去				公設樹	公共排水樹	接続部止め工事の上、残置
						ガス管		引込部止め工事



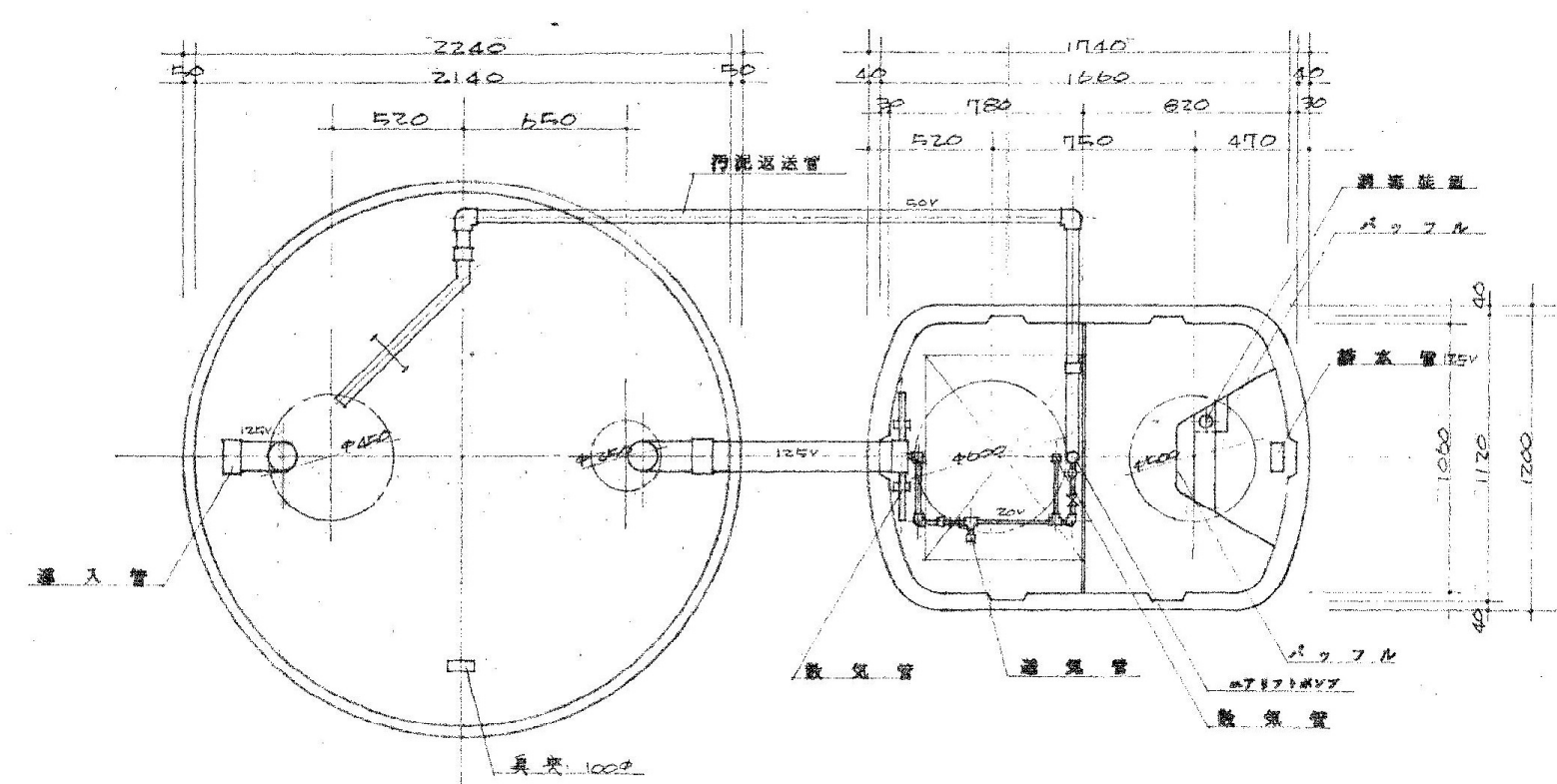
■家屋調査リスト

調査No.	用途	構造・規模	床面積	調査範囲	備考	調査No.	用途	構造・規模	床面積	調査範囲	備考
No.1	住宅	木造2階	- m ²	・外部・内部 ⊙ 外構		No.6	賃貸アパート	木造2階	約260 m ²	⊙ 外部 ⊙ 内部 ⊙ 外構	2LDK×4戸
No.2	住宅	木造2階	- m ²	・外部・内部 ⊙ 外構	木造車庫	No.7	賃貸アパート	木造2階	約210 m ²	⊙ 外部 ⊙ 内部 ⊙ 外構	2LDK×4戸
No.3	住宅	木造2階	- m ²	・外部・内部 ⊙ 外構	カーポート	No.8	住宅	木造2階	- m ²	・外部・内部 ⊙ 外構	
No.4	住宅	木造2階	約120 m ²	⊙ 外部 ⊙ 内部 ⊙ 外構		No.9	住宅	木造2階	約140 m ²	⊙ 外部 ⊙ 内部 ⊙ 外構	カーポート
No.5	賃貸アパート	木造2階	約260 m ²	⊙ 外部 ⊙ 内部 ⊙ 外構	2LDK×4戸	No.10	店舗	木造平屋	約100 m ²	⊙ 外部 ⊙ 内部 ⊙ 外構	飲食店

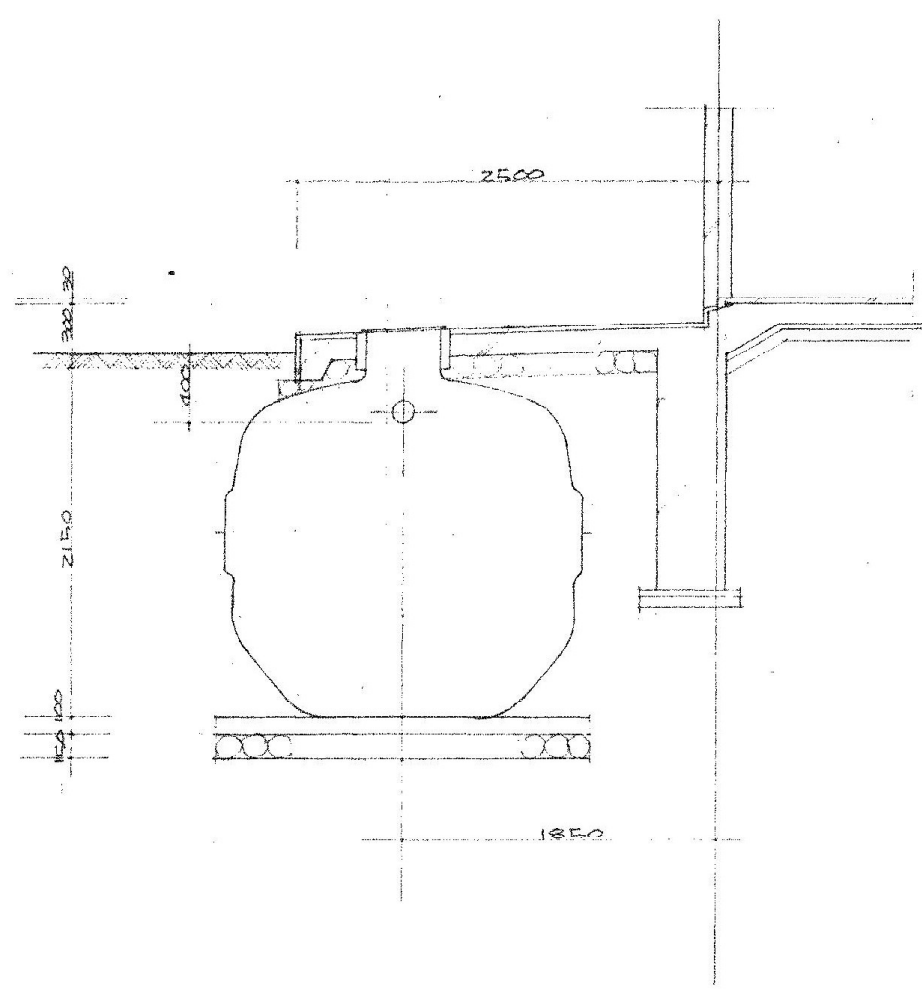
外構撤去図 S=1/300

■特記事項
 ・ は、家屋調査対象を示す。

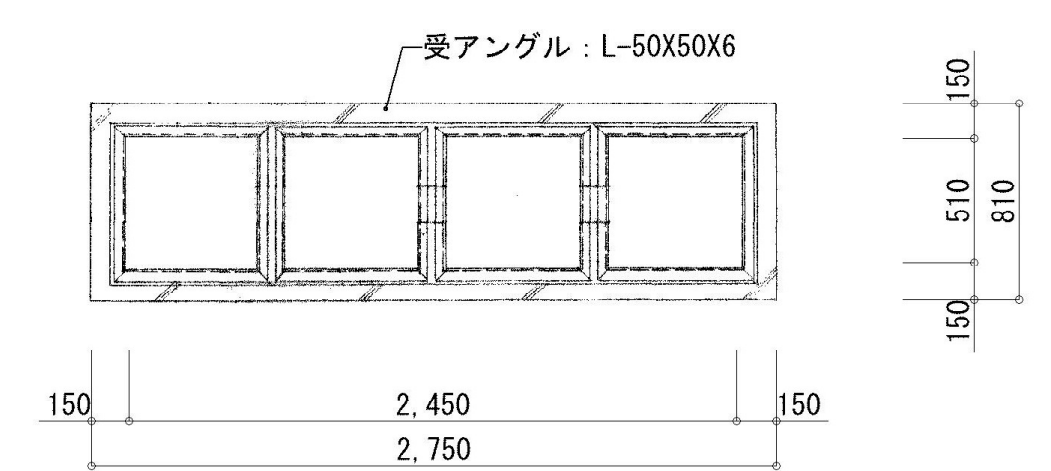
設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事	縮尺 1/300	A-26
図面名称 外構撤去図、家屋調査リスト			
実施者 新発田地域広域事務組合			



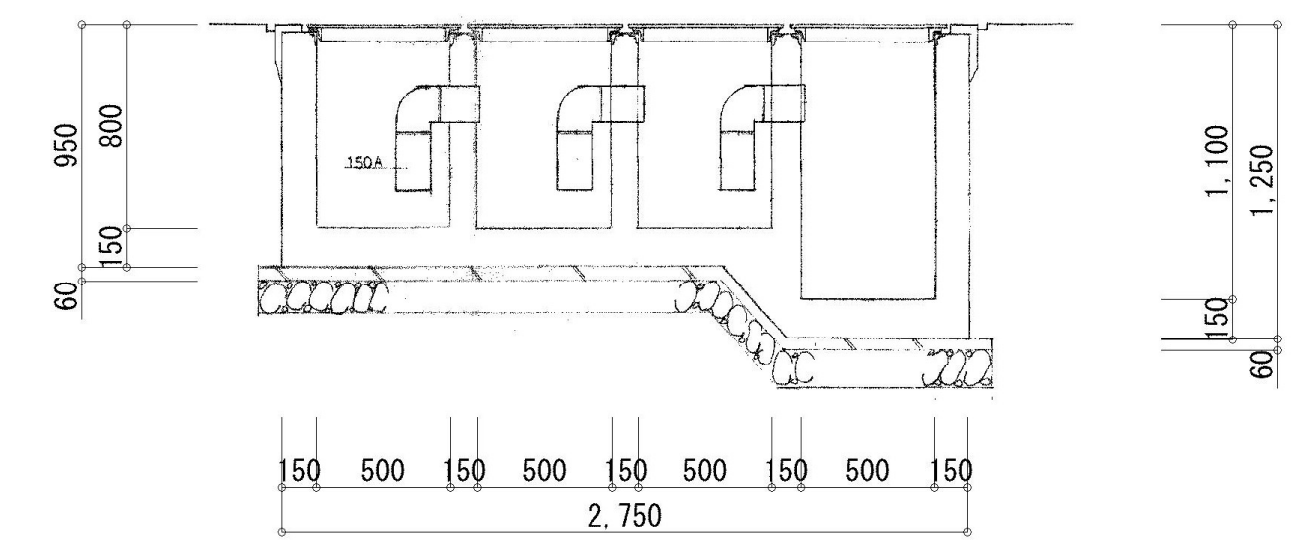
浄化槽平面図 S=1/30



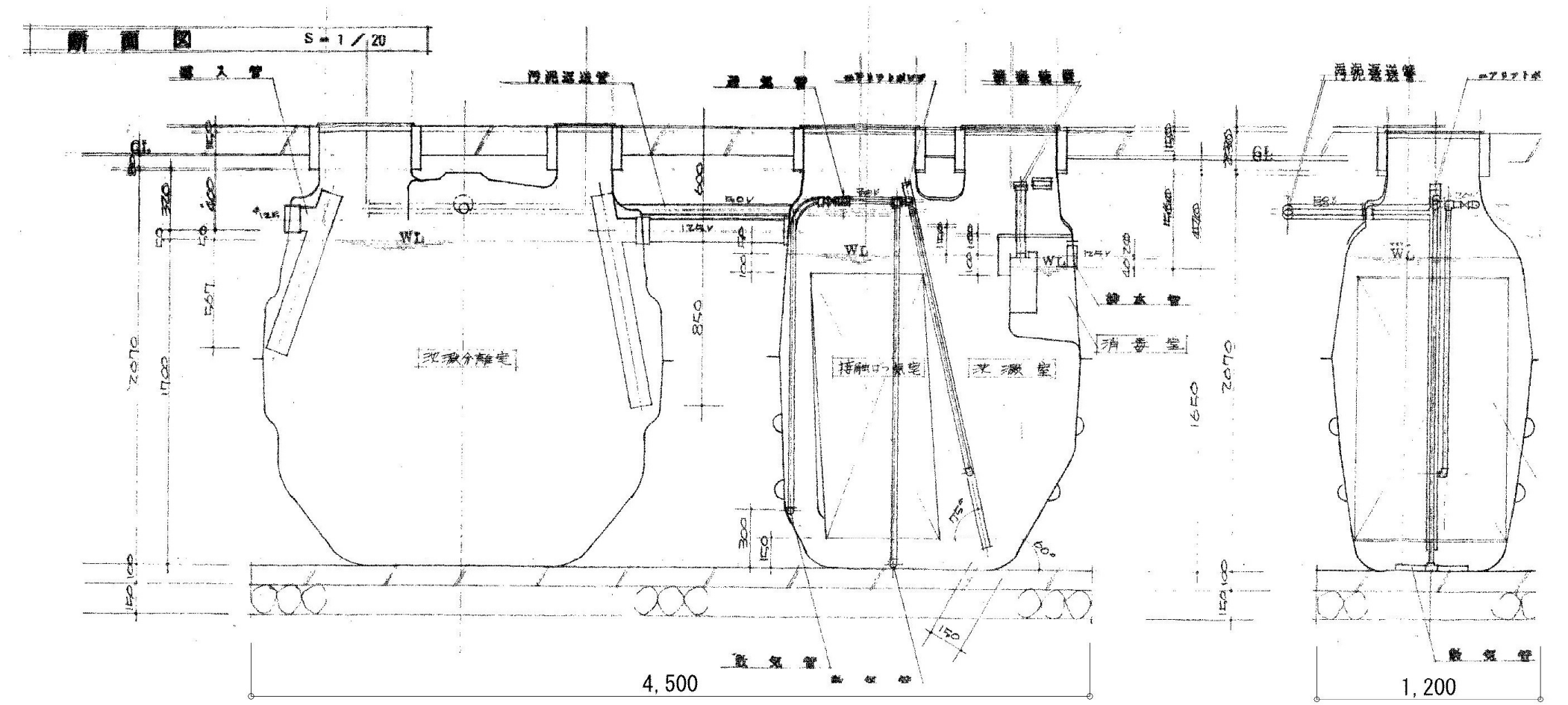
浄化槽断面図 S=1/30



オイルトラップ平面図 S=1/30



オイルトラップ断面図 S=1/30



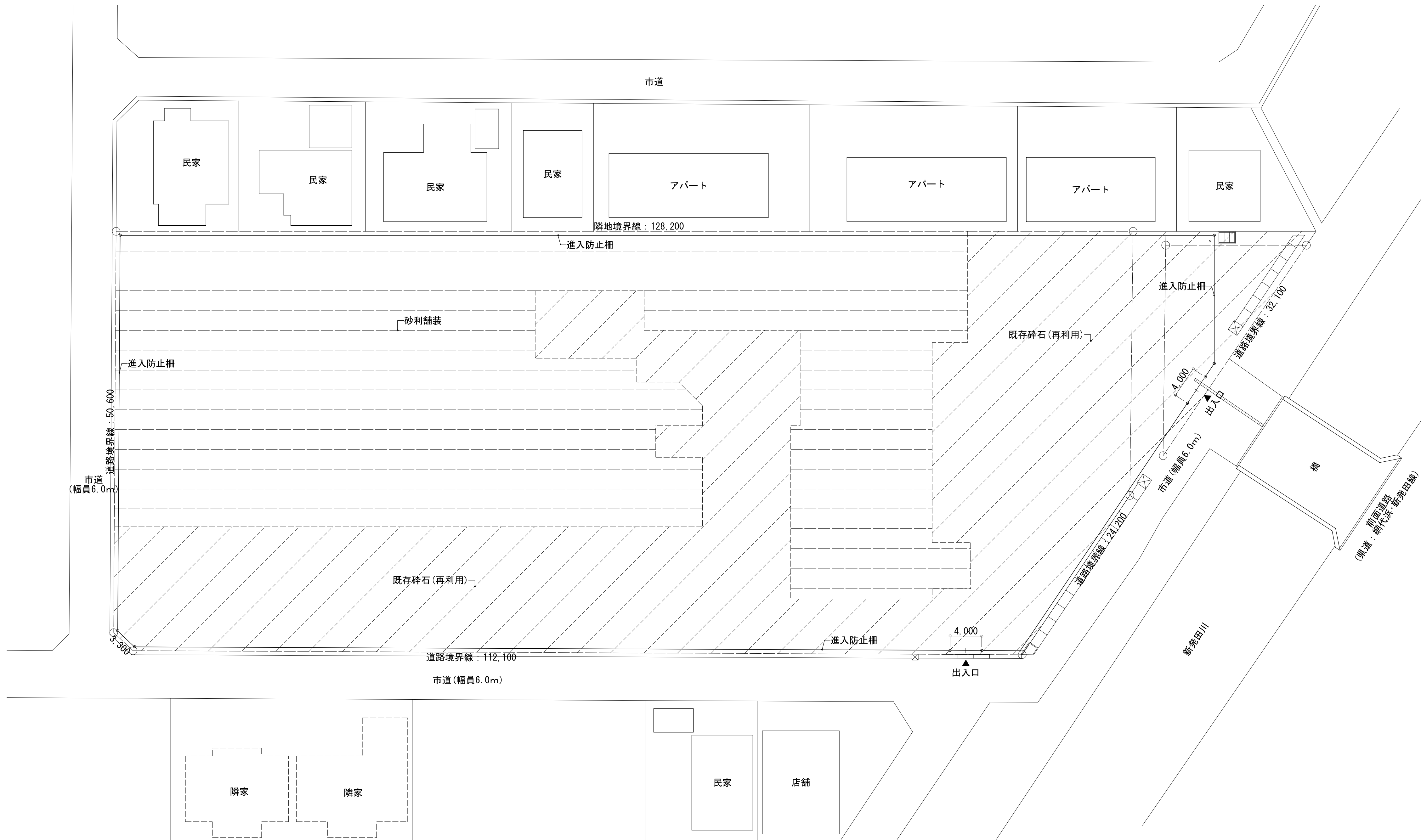
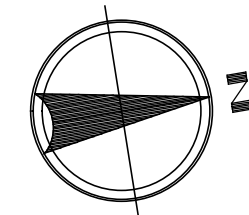
浄化槽断面図 S=1/30

容量	全槽排液量400槽
処理能力	4.276 m³/h
浮遊物除去	1.899 *
沈降量	0.782 *
残存量	0.000 *
総重量	11.181 *

材料	FRP
パイプ	鋼製塩化ビニル
マニホールド	ステンレス製FRP
浮遊物	鋼製浮遊物
送風機	出力 200 W
穴盤	FRP製

■整備内容一覧

符号	名称	内容	参考図	符号	名称	内容
	砂利舗装	整地のうえ、再生砕石 t 50舗装 (既存砕石再利用)		給M	給水メーター	残置の上、散水栓設置
	進入防止柵	木製柵：H1.200(一部開放) 出入口：トラロープ2段、「立入禁止」プレート取付け				



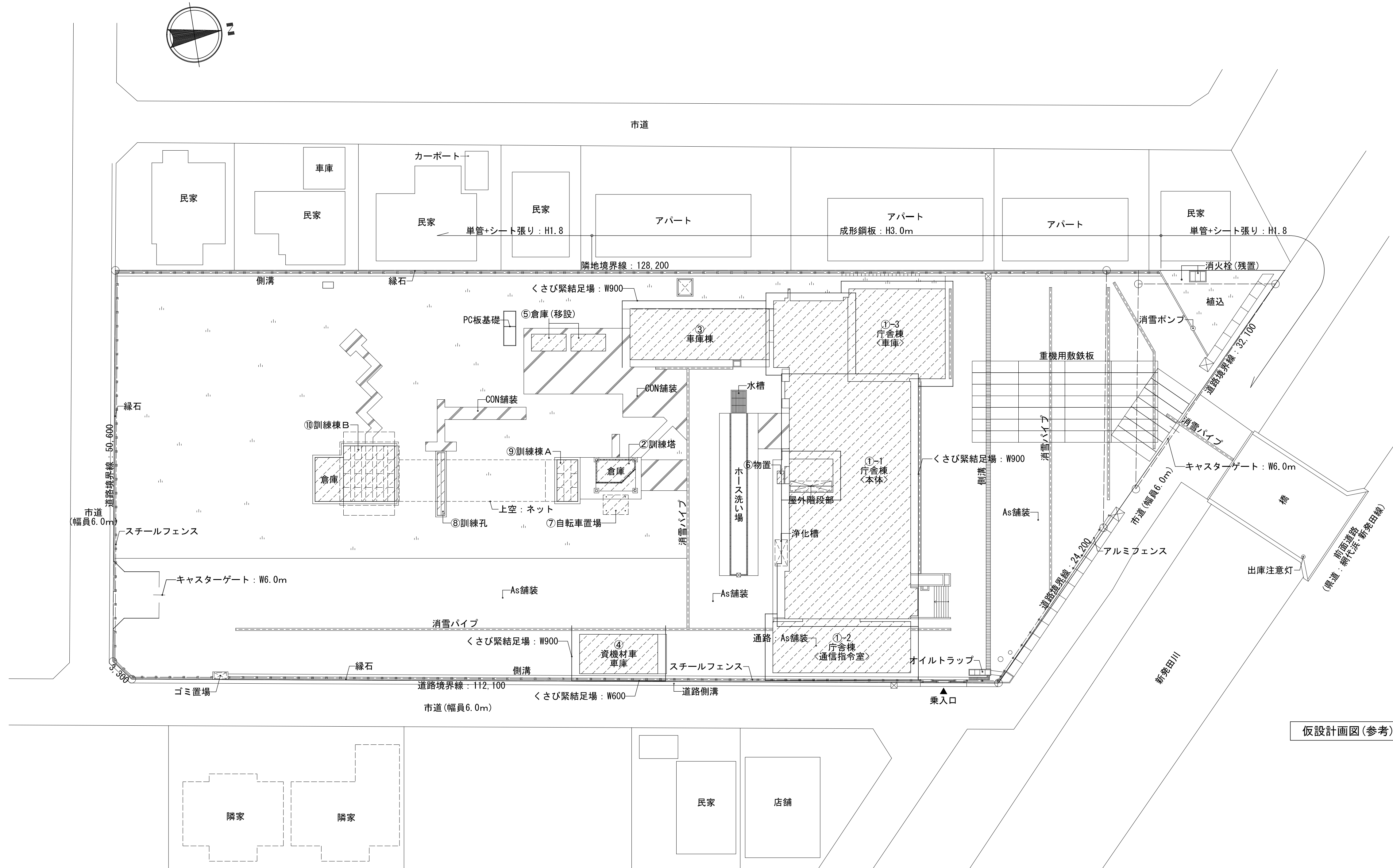
構内整備図 S=1/300

- 特記事項
- ・ は、砂利舗装を示す。
 - ・ は、既存砕石(再利用)を示す。

設計者名 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事	縮尺 1/300	A-28
図面名称 構内整備図			
新発田地域広域事務組合			

■仮設計画凡例

図	区分	内容
———	仮囲い	成形鋼板：H3.0
———	仮囲い	単管+シート張り(H=2.0m)
— { —	搬出入口	キャスターゲート：W6.0m
———	解体飛散防止足場	くさび緊結足場：W900(資機材車庫道路側はW600) 手摺先行方式、防音シート張り
□	—	敷鉄板：t 22X5X20



仮設計画図(参考) S=1/300

設計者等 あい設計株式会社 〒959-2453 新潟県新発田市三日市213番地 一級建築士事務所 新潟県知事 登録番号(ニ)第4483号 管理建築士 石山 幹雄 一級建築士 第247602号 TEL 0254-26-2903 FAX 0254-20-7170	工事名称 新発田広域消防本部解体工事	図面名称 仮設計画図(参考)	縮尺 1/300	新発田地域広域事務組合	A-29
---	------------------------------	--------------------------	-------------	-------------	------